Ⅱ　教育課程及び履修

１　教育理念と目的

（１）教育理念

対象の人間としての尊厳を維持しながら、高度に体系化された専門的知識・技術を基盤とした科学的根拠に基づく実践を提供し、常に最良の健康状態の実現を目指す保健医療専門職としての看護職者・診療放射線技師を養成します。

さらに、将来、群馬県内のみならず国際的にも活用可能な研究成果を産出するとともに、わが国における最高水準のＥＢＰ（Evidence Based Practice）の創造・開発・普及に携わり、保健・医療・福祉環境における技術革新に貢献できる人材としての基盤を築きます。

（２）教育目的

本学は、保健医療に関する高度な知識と技術を教授研究し、高い教養と豊かな人間性を持つ保健医療専門職者を養成するとともに、研究成果を地域に還元することにより、県民の健康、医療及び福祉サービスの向上に寄与することを目的とする。

（３）基本目標

本学は、看護学及び診療放射線学に関する理論及び応用を教授研究する。保健師、看護師、診療放射線技師、ならびに保健医療の指導者、教育者、研究者を育成する。学術研究の発展をはかりその研究成果を地域へ還元する。これらを通じて、県民の保健医療福祉の向上ならびに看護学及び診療放射線学の発展に貢献する。

ア　教育の目標

１．学部教育においては、保健医療に関する専門的知識・技術と実践的能力を身につけた地域の保健医療福祉を支える保健師、看護師、診療放射線技師を育成する。

２．大学院教育においては、地域の要請に応えうる高度な専門的知識･技術と実践的能力を身につけた保健医療の指導者、創造性と実践力を併せ持つ教育者･研究者を育成する。

３．学部･大学院教育を通じて、幅広い教養、科学的かつ柔軟な思考力、主体的な問題解決能力、他者と協働できる適切なコミュニケーション能力を有し、人々の健康維持･促進に対する強い使命感と高い倫理観を兼ね備えた人材を育成する。

イ　研究の目標

全学的な研究水準の向上に取り組み、保健医療分野をリードする知の創造の拠点としての機能を高める。地域保健医療の課題解決に向けた実践的研究を推進するとともに、国際的・学際的な視野に立つ特色のある基礎研究・応用研究を推進する。

ウ　社会貢献の目標

県立の保健医療系大学として求められる役割を果たすため、地域の保健医療の発展を担う人材の育成、地域の課題解決に資する取組の強化、諸機関との多様な連携や共同研究の推進、公開講座等を通じた研究成果の地域への還元などに積極的かつ組織的に取り組む。

（４）三つのポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

１．豊かな人間性を培い、人間への深い関心と理解を示す人
２．自立を目指し、自ら学ぶ姿勢を持つ人
３．他者との関わりを通して成長できる人
４．保健医療専門職を目指す者として、専門的知識や技術の獲得に意欲を示す人

■ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

看護学部１０ページ、診療放射線学部２２ページ参照

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）

看護学部１０ページ、診療放射線学部２２ページ参照

２　学生支援に関する基本方針

本学では、次のとおり「学生支援に関する基本方針」を定めています。
学生支援に関する基本方針

本学は、建学の基本理念及び設置の目的の実現に向けて、学生が学修に専念し、充実した学生生活を送れるよう下記の取り組みを行う。

１．修学支援に関する方針
　１）基礎学力を向上させ、保健医療専門職として社会で活躍できるよう修学支援体制を整備する。
　２）経済的に不安なく学修に専念できるよう各種支援の充実に努める。
　３）障がい学生への支援体制を整備する。
２．生活支援に関する方針
　１）学生の心身・健康管理に関する相談・支援体制を整備する。
　２）学生の課外活動・社会活動への取り組みを支援する。
　３）ハラスメント防止に努める。
３．進路支援に関する方針
　１）職業人として社会で自立できるようキャリア教育を推進する。
　２）各種就職支援プログラムを整備し、就職活動を支援する。

３　卒業生の特性

本学は、卒業生に期待する特性として次の６項目を掲げ、４年間の基礎教育課程を通して、その獲得を支援します。

■わが国、特に群馬県における保健医療チームの一員として、科学的根拠に基づく専門的知識・技術を駆使し、責務を全うするための基礎的能力を持つ。
■対象の人間としての尊厳を維持しながら、科学的根拠に基づく実践を実現するための基礎的能力を持つ。
■人間の生涯とその生活に対する普遍性と多様性に強い関心と深い理解を示す。
■群馬県民をはじめ、様々な地域に生活する人々の健康維持・促進に対する強い使命感を持つ。
■人種、民族、年齢、性別等が異なるあらゆる対象の福祉に貢献する専門職としての責務を自覚し、高い倫理性を備える。
■科学及び学術の価値を確信し、ＥＢＰに意義を見出す。

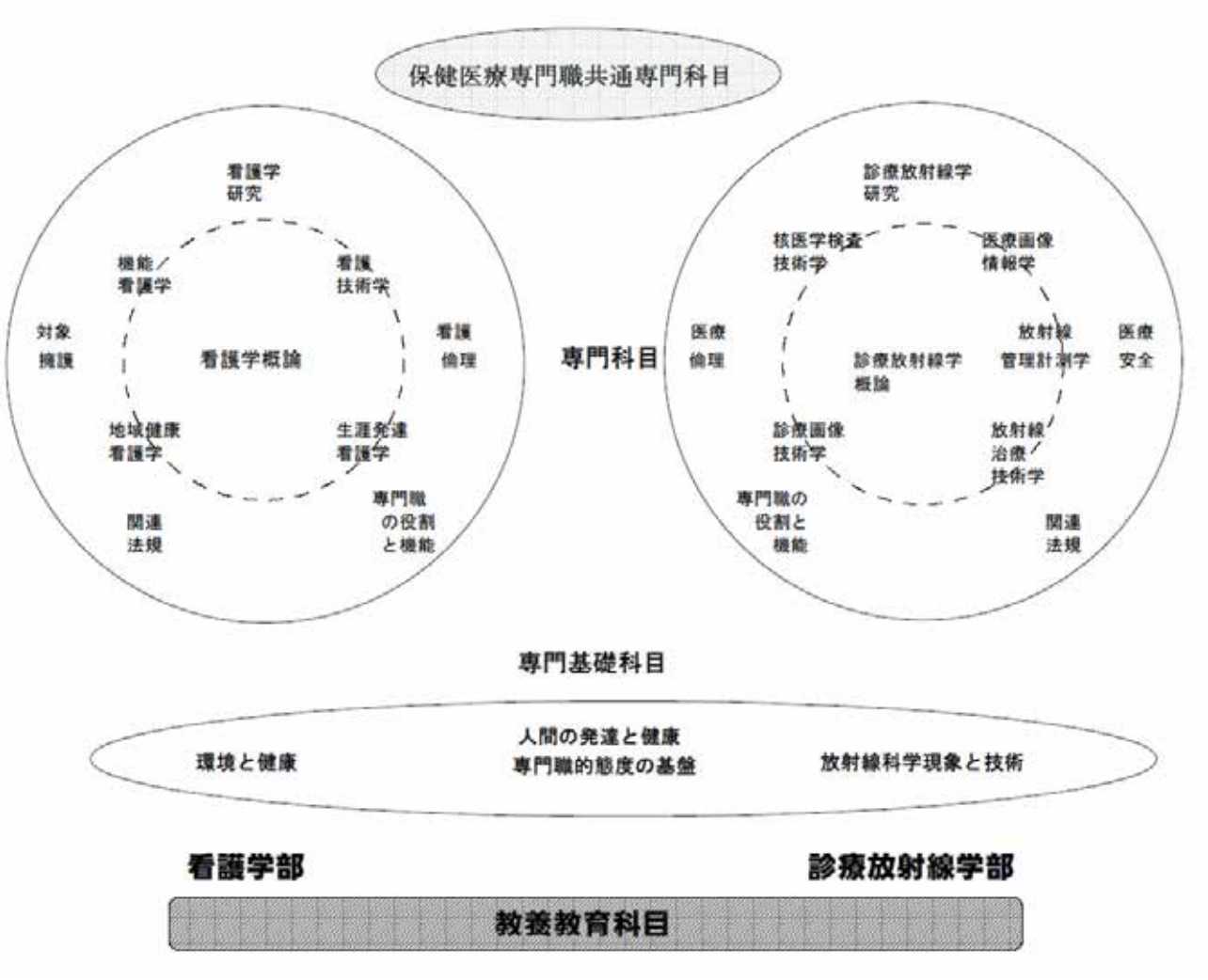
卒業生には、これらの特性を最大限に発揮しながら保健医療専門職として自律的に発達することを期待しています。

また、将来的には、ＥＢＰに採用可能な研究成果を産出し、保健・医療・福祉環境における技術革新を促進するとともに、群馬県のみならず国際的にも活用可能な新たなＥＢＰの創造・開発・普及に貢献することを期待します。

4　カリキュラムの特徴

本学のカリキュラムには、人間としての尊厳を維持しながら、科学的根拠に基づいた実践を提供するために必要な基礎的能力の修得を支える「教養教育科目」を配置しています。

同時に、保健医療専門職としての専門性発揮への準備を整えるために「専門基礎科目」、各学部独自の専門的知識・技術の修得を目指す「専門科目」、保健医療専門職として２学部共通して必要となる知識・技術・態度の修得を目指す「保健医療専門職共通専門科目」を配置しています。これらの学科目が、学年進行に伴い系統的に学習できるように編成してあります。



（１）教養教育科目

専門職業人としての高度な知識と技術を修得する以前に、人間としてより豊かに成長・発達する基盤を獲得することを重視する科目群です。

この科目群は、第１に、人類の文化遺産や現代社会の持つ理念や使命とともに、現代の学問領域の基礎的知識や研究方法についての概略などを学び、豊かな人間性の基盤となる幅広い教養と知識を身につけることを目指しています。

第２に、個人の主体的な選択を尊重しつつ、大学の理念・教育目的である人間理解や科学的根拠への価値付けの基礎を築くことを意図しています。

本学は教養教育科目として、次の４学科目群、３４科目を配置しています。

ア　文化と生活

人類が育み継承してきた文化に対する関心を高め、豊かな精神生活を送ることに対する本質的価値を学ぶための科目群として「芸術」、「異文化の理解」、「歴史学の変化と発展」などを配置しています。

さらに、県民をはじめ地域に生活する人間の保健・医療・福祉環境へのさらなる貢献を目指す本学の基本理念との連関を意図する「群馬県民の文化と生活」を配置しています。

イ　個人と社会

現代社会に生きる人間に対する理解を深めるとともに、現代社会が産み出す矛盾をみつめ、その中にあってなお、自己を信じ、よりよく生きようとする人間としての倫理性を築くための科目群です。「個人と集団」、「人間と職業」、「法と正義」、「倫理と道徳」、「社会と経済」、「心の機能と構造」を配置しています。

ウ　人間とコミュニケーション

人間の相互行為を円滑に進めるための基礎となるコミュニケーション方法を学ぶとともに、人種・民族などの異なる人々に対応できる人材としての素養を養うための科目群を配置しています。

第１に多様な文化的背景を持つ人々とのコミュニケーションを図るための科目群として、国連の公用語でもある「英語」、「中国語」、「フランス語」を、また、県内にブラジル人が多く生活している等の特色を踏まえ、その公用語である「ポルトガル語」、及び本学との学術交流を踏まえ「韓国語」を配置しています。

第２にコンピュータを媒体とした情報コミュニケーションの普及・拡大を受け、未来社会におけるコミュニケーション技術の拡大を視野に入れた科目として「情報科学」を配置し、情報処理の基盤となる統計学の基礎や、コンピュータを活用した情報収集・発信の方法を学ぶ機会を提供しています。

エ　環境と科学

この学科目群は、教養教育として重要な学問を科学の体系との関連から理解し、これらの学問の成果が人間の生活や自然現象の解明とどのように関連しているかを学ぶ機会を提供しています。この過程を通して科学の重要性とその活用に対する意識を高めることを目指しています。「生活と科学」、「自然現象と科学」、「環境科学」を配置しています。

また、自らの身体を通して、人間の身体運動機能に関する科学的根拠を確認でき、かつ、保健医療専門職としての活動に不可欠な身体機能の維持･向上を図ることができる科目として「スポーツ科学」を配置しています。

（２）専門基礎科目

看護職者・診療放射線技師の実践を支える独自の専門的知識・技術を学習するための前段階として学ぶ科目群です。専門基礎科目は、学部ごとに３学科目群に分類しています。

看護学部
環境と健康 人間の発達と健康 専門職的態度の基盤

診療放射線学部
人間の発達と健康 放射線科学現象と技術 専門職的態度の基盤

「環境と健康」、「人間の発達と健康」、「放射線科学現象と技術」に配置した科目に関しては、同じ名称の科目であっても、各学部の目的・目標を考慮し、独自の学科目標、時間配分、方法を設定し展開します。

「専門職的態度の基盤」における科目の多くは、保健医療専門職に必要な専門基礎科目として共通性が高いため、合同授業を展開し、看護職者、診療放射線技師の役割や専門性に対する関心を高める機会を提供しています。

（３）専門科目

看護職者・診療放射線技師の実践を支える専門的知識・技術を学ぶ科目群です。

■看護学部

これまで体系化されてきた看護学の専門領域を統合再編成し、新たに次の４領域に含まれる科目と、その関連科目を配置しています。

第１は看護技術学であり、質の高い看護に必要な基礎的技術とその応用力の獲得を追究します。

第２は生涯発達看護学であり、受胎から死に至るまでの人間の発達段階に沿った健康状態と看護を統合的に追究します。

第３は地域健康看護学であり、人々が生活する場の相違に焦点を当て、個人・集団に対する看護を追究します。

第４は機能看護学であり､看護学生を含む看護職者の成長･発達とその機能を追究します。

さらに、これら４領域すべての中核となる「看護学概論」、これらに関連し、専門職者としての基礎的態度及びＥＢＰを実現するための能力獲得に必要な「看護倫理学」、「看護対象擁護論」、「看護関連法規論」、「看護専門職の役割と機能」、「看護学研究」などの学科目を配置しています。

■診療放射線学部

高度な知識・技術を提供すると同時に人間を理解・尊重できる専門職としての態度を培う科目を配置しています。

これらの科目から構成される領域は、診療放射線技術学、診療画像技術学、医療画像情報学、核医学検査技術学、放射線治療技術学、放射線管理計測学であり、診療放射線技師としての実践を裏付ける専門的知識・技術を追究します。

また、診療放射線学の基盤となる「診療放射線学概論」、これらに関連し専門職としての基

礎的態度及びＥＢＰを実現するための能力獲得に必要な「診療放射線技師と医療倫理」、「診療放射線技師と医療安全」、「診療放射線技師と関連法規」、「診療放射線技師の役割と機能」、「診療放射線学研究」などの学科目を配置しています。

（４）保健医療専門職共通専門科目

看護学部、診療放射線学部に共通する専門教育科目であり、各専門領域を越え保健医療専門職として求められる知識・技術・態度を学ぶための科目「保健医療情報組織学」、「保健医療チーム連携論」、「保健医療システム開発論」、「保健医療国際連携論」を配置しています。

なお、これらの科目の多くは、３・４年次に配置し、すでに学習してきた専門的知識・技術・態度を基盤として、看護職者、診療放射線技師の立場から保健医療専門職が他職種と連携・協働するための課題を学ぶ機会を提供します。

また、各々の専門性により、保健医療専門職の現象の捉え方や問題意識の特徴には共通性・相違性があり、保健・医療・福祉の向上を目指し、それぞれの専門性と役割を尊重する意義を学ぶ機会を提供しています。

５　看護学部の教育課程

（１）教育目的・教育目標

ア　教育目的

本学の存在する群馬県の県民をはじめ、様々な地域に生活する多様な人々の生涯にわたる健康水準の維持、向上に貢献する方法を学ぶ。この過程を通して豊かな人間性を培い、変動する社会の中で個々の役割を担いながら、自然と共生し独自の文化を育み生活する人間に対する理解と関心を深める。

また、科学的根拠に裏付けられた専門的知識・技術並びに高い倫理的判断力を身につけ、常に対象の人間としての尊厳を維持しながら、より質の高い看護を提供する保健医療専門職としての基盤を築く。

イ　ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

卒業に際して、カリキュラムポリシーが定める特性を学生が身につけたかを卒業要件及び修得単位で判定し、学位を授与する。

以下に、看護学部学生が卒業までに身につけるべき内容を示す。

1. 群馬県内をはじめ、様々な地域における保健医療チームの一員として専門性を発揮し、責務を全うするため、以下の基礎的能力を身につける。
   (ア)対象の個別性に応じて看護技術を提供する能力
   (イ)あらゆる職種において発揮可能な初歩的管理能力
   (ウ)対象の様々な健康状態に精通し、常にその維持増進を図る能力
   (エ)あらゆる職域において心理・教育的支援を提供する能力
   (オ)対象の健康状態の正常・異常を査定する能力
2. 対象の人間としての尊厳を維持しながら、科学的根拠に基づく看護を展開するための基礎的能力を持つ。
3. 人間の生涯とその生活及び健康状態における普遍性と多様性に強い関心と深い理解を示す。
4. 群馬県民をはじめ様々な地域に生活する人々の健康維持・促進に対する強い使命感と高い倫理性を持つ。
5. 人種、民族、年齢、性別等の異なるあらゆる対象の福祉に貢献する看護職者としての責務を自覚し、行動する。
6. 科学及び学術の価値を確信し、研究成果を活用した看護に意義を見いだす。

ウ　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

１．専門職業人としての高度な知識と技術を修得する前段階として、人間としてより豊かに成長・発達する基盤を獲得することを重視する科目として、教養教育科目４学科目群、３４科目を配置する。

２．看護学視点から人間の健康と環境及び生涯発達を理解するための基盤並びに看護専門職者として対象と相互行為を展開する基盤を育成するための科目として、専門基礎科目３学科目群を配置する。

３．看護職者の実践を支える専門的知識・技術を学ぶ科目として、これまで体系化されてきた看護学の専門領域を４領域に統合再編成し、専門科目４学科目群を配置する。
４．看護学部、診療放射線学部の各専門性を超え保健医療専門職として求められる知識・技術・態度を学ぶための科目として、保健医療専門職共通専門科目を配置する。

（２）専門教育科目の特徴

ア　専門基礎科目

看護学的視点から人間の健康と環境及び生涯発達を理解するための基盤並びに看護専門職者として対象と相互行為を展開する基盤を育成するための学科目群です。「環境と健康」、「人間の発達と健康」、「専門職的態度の基盤」の３学科目群を配置しています。

■環境と健康

「群馬県民の生活と健康」及び「環境と健康」（概論・各論）を配置しています。この学科目群を通して、人間の内部環境、外部環境が健康状態にいかに影響しているかを学びます。

また、選択科目として、人類の歴史と放射線の関係とともに放射線による内部・外部環境への影響を学ぶ「人間と放射線」、人間の診療画像を通して内部環境を理解するための基礎的知識と技術を学ぶ「医療画像情報解析学」を配置しています。

■人間の発達と健康

「人間の発達と健康」（概論・各論（導入実習）・各論Ⅰ～Ⅵ）を配置しています。この学科目群を通して、母胎期から終末期までの人間の生涯発達を理解し、各発達段階に沿って、正常な健康状態及び正常から逸脱した健康状態と主な治療などを学ぶ機会を提供します。生涯発達看護学を学ぶために不可欠な発達段階の相違による対象理解の基盤を育成します。

■専門職的態度の基盤

「相互行為展開論」、「生命倫理学」、「社会制度と福祉」、「生活と研究」を配置しています。この学科目群を通して、対人関係の構築、対象の福祉への貢献を前提とした倫理規範を確立する必要性、科学的知識の生成・活用に対する価値付けなど、専門職に求められる態度の基礎を育成します。

イ　専門科目

「看護技術学」、「生涯発達看護学」、「地域健康看護学」、「機能看護学」の概論・各論及び関連科目である「看護学概論」、「看護倫理学」、「看護対象擁護論」、「看護専門職者の役割と機能」、「看護関連法規論」、「専門的機能と看護実践」、「看護学研究」を次の４学科目群に分類しています。

看護の本質と看護技術	人間の生涯発達と看護
地域で生活する人々の健康と看護	看護専門職の役割と機能

専門科目群においては、看護実践の原理・原則となる基礎的知識・技術を学ぶ科目、これを核として、発達段階や生活する場の相違に応じた実践の共通性・普遍性を理解する科目を配置し、対象の個別性に合わせた看護を展開するための基礎的能力を段階的・系統的に学びます。さらに、看護学研究の成果を理解し、実践に活用する機能を高め、教育的、管理・政策的な側面から看護職者の成長発達を支援する必要性を学ぶ機会を提供します。

■看護の本質と看護技術

「看護学概論」、「看護技術学概論・各論」、「看護倫理学」及び「看護対象擁護論」を配置しています。

看護学概論・看護技術学概論・各論Ⅰ～Ⅵ

看護職者としての実践を展開する上で基盤となる知識･技術の獲得を目指す科目群です。特に看護技術学概論・各論においては、現実の臨床環境における看護職者の行動を分析した研究成果を活用し、看護職者の行動を構成する各側面を学び、これらを統合する機会を提供します。

看護倫理学、看護対象擁護論

看護職者が、実践を展開する過程において対象の人権擁護に配慮し、常に人として尊重する態度を確立するために必要な基礎的知識を学ぶ科目です。

■人間の生涯発達と看護

「生涯発達看護学概論・各論」を配置しています。

生涯発達看護学概論・各論Ⅰ～Ⅵ

生涯発達看護学は、従来の看護学の各専門領域を生涯発達という観点から再検討し、新たに構成した学問領域です。「母胎期」、「乳幼児期・学童期」、「思春期・青年期」、「成人期」及び「老年期」の各期を各論として展開します。

■地域で生活する人々の健康と看護

「地域健康看護学概論・各論」、「人間集団と健康（疫学）」を配置しています。

地域健康看護学概論・各論Ⅰ～Ⅳ・Ⅴ－１（家庭環境実習）・Ⅴ－２（公衆衛生看護実習）

地域健康看護学は、病院をはじめとする医療施設にとどまらず、家庭環境、保健・医療・福祉施設環境、学習環境、労働環境などの様々な場において生活する対象に焦点を当て、生活する場の相違により生じやすい健康問題の特徴を理解し、その特徴に応じた看護を個人・集団に展開するための知識・技術・態度を学ぶ科目です。

人間集団と健康（疫学）

人間集団の健康状態に影響する生活や環境の諸要因の理解を通して、疾病予防、健康の保持・増進に向けた科学的根拠に基づく地域保健活動の意義を学ぶ科目です。

■看護専門職の役割と機能

「機能看護学概論・各論」、「看護関連法規論」、「看護専門職の役割と機能」、「専門的機能と看護実践」、「看護学研究概論」、「看護学研究Ⅰ（問題解決過程）」及び「看護学研究Ⅱ（EBP）」を配置しています。

機能看護学概論・各論Ⅰ～Ⅱ・Ⅲ－１（看護政策）・Ⅲ－２（地域行政政策）・Ⅳ・Ⅴ

機能看護学は、看護学生を含む看護職者の発達支援、その役割と機能の発揮に焦点を当て、究極的には、看護の対象の健康状態の維持・向上に貢献することを目指す学問です。

第１に看護教育、看護管理、看護行政など看護職者の働く環境の特徴を学ぶことを目指します。

第２にその環境の変化に柔軟に対応し、常に自らの役割を見いだし、看護職者として発展し続けるために必要な基礎的知識・技術・態度について学びます。

第３にこれらの学習を通して、看護職者が制度的側面にも関わりその機能と役割を発揮していく重要性を学びます。

看護関連法規論

看護職者の役割と機能を支える関係諸法規の種類と実践への影響を学ぶ科目です。

看護専門職の役割と機能Ⅰ・Ⅱ－１（総合実習）・Ⅱ－２（役割移行実習）

Ⅰは、看護における様々な専門領域や諸外国における看護職者の役割と機能などを学び、その将来的な発展性や、専門性により生じる看護職者の役割の相違と本質的に共通する普遍性についても学ぶ科目です。

Ⅱは、実習を通して、専門基礎科目・専門科目において学習した内容の統合を目指す科目です。そのうちⅡ－１（総合実習）は、すでに学習した看護学各領域の中から、学生が関心の深い領域を選択し、実習を通して、その専門領域における既習の知識・技術を対象に適用・検証し、各看護学領域において活動する看護職者の専門性を学ぶ科目です。Ⅱ－２（役割移行実習）は、看護職者として就業する施設と類似した施設を実習フィールドとし、看護学生から看護職者への役割移行に関して学ぶ科目です。

専門的機能と看護実践

臨地において、より専門性の高い看護を必要とする人々に対して、健康上の問題を解決・回避し、その人らしく、質の高い生活を維持・回復できるよう看護実践に必要な知識・技術・態度を学ぶ科目です。

看護学研究概論・看護学研究Ⅰ（問題解決過程）・Ⅱ（ＥＢＰ）

看護職者として、実践に研究成果を活用するための能力を総合的に高めていくことを意図して設置した科目です。

看護学研究概論・看護学研究Ⅰ（問題解決過程）

看護学研究概論は、看護学研究とは何か、その構造と特徴はどのようなものかを理解し、

必要な研究論文を選択し、理解するために必要な基礎的知識・技術・態度を学ぶ科目です。看護学研究Ⅰ（問題解決過程）は、学生が小グループを形成し、看護学に関して疑問が残っている問題を明らかにし、文献検索を通してその問題を学術的に解決する過程を体験する科目です。

看護学研究Ⅱ（ＥＢＰ）

看護学研究概論・看護学研究Ⅰにおいて学習した内容と、各専門科目において学習した看護学の内容を統合し、それまでの学習過程において学生個々人に生じた看護実践に関わる問題を明らかにし、その問題を解決するために研究成果を活用して、実践を展開する科目です。

また、これら一連の過程を論文としてまとめる方法を学び、研究成果を活用する基礎的能力を身につけるとともに、研究成果の活用と産出に対する価値を学ぶ機会を提供します。

ウ　保健医療専門職共通専門科目

看護学部の専門性を越えて保健医療専門職に求められる知識・技術・態度を学ぶための科目群です。診療放射線学部学生との合同授業を展開し、相互の役割について理解すると同時に、専門領域の異なる保健医療専門職の役割や機能における共通性・相違性を学びます。

この科目群によって、保健医療チームの一員としての看護職者の役割や重要性に関する理解を促進し、さらに他のチームメンバーの立場を尊重し、協働するための基礎的態度を育成します。

（３）実習科目履修要件

看護師免許を有しない学生が実習科目を履修するためには、学生がクライエントに対して安全に技術を提供できるよう健康面・学修面における準備状況を十分に整える必要があります。そのため、看護学部では、①健康上の準備状況、②前提となる知識や技術に関する学修上の準備状況について、履修に必要な要件を定めています。

①　健康上の準備状況

クライエントと学生自身の安全確保、および院内感染防止等のため、実習開始までに以下に示す健康上の準備状況を整えておくことが実習科目の履修要件となります。

健康診断等で指摘された健康上の問題に対して受診行動をとらない場合や、本学指定の抗体価検査、予防接種が行われていない場合には、実習に参加できないことがあります。

i)　毎年前期セメスターに実施される健康診断、またはこれに準ずる健康診断を受けていること。

ii)　健康診断での指摘事項およびその他の健康上の問題については医療機関を受診し、必要に応じて治療を受ける等の適切な対処ができていること。

iii)　本学で指定する抗体価検査や予防接種等、感染症の予防対策を講じていること。

② 前提となる知識や技術に関する学修上の準備状況

看護に必要な知識・技術を身につけた上で実習科目を履修し、学科目的・学科目標を達成できるようにするため、次の科目において履修条件を定めています。

科　　目	履修要件
・人間の発達と健康各論（導入実習）	○「人間の発達と健康概論」前期セメスター終了時に行う中間評価の結果が６０%を超えていること
・看護技術学各論Ⅵ	○専門基礎科目の必修科目すべての単位を修得していること。（ただし「人間の発達と健康」各論Ⅵ（終末期）は修得見込みであること。） ○以下の科目の単位を修得していること 「看護学概論」 「看護技術学概論」 「看護技術学各論Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ」 ○以下の科目の単位を修得見込みであること 「看護技術学各論Ⅲ・Ⅴ」
・生涯発達看護学各論Ⅵ－１ ・生涯発達看護学各論Ⅵ－２ ・生涯発達看護学各論Ⅵ－３ ・生涯発達看護学各論Ⅵ－４ ・生涯発達看護学各論Ⅵ－５	○以下の科目の単位を修得していること 「看護技術学各論Ⅵ」 「看護倫理学」 「生涯発達看護学概論」 「生涯発達看護学各論Ⅰ～Ⅴ」
・地域健康看護学各論Ⅴ-１ ・地域健康看護学各論Ⅴ-２	○以下の科目の単位を修得していること 「看護技術学各論Ⅵ」 「看護倫理学」 「生涯発達看護学概論」 「生涯発達看護学各論Ⅰ～Ⅴ」 「地域健康看護学概論」 「地域健康看護学各論Ⅰ～Ⅳ」 「保健医療情報組織学」
・看護専門職の役割と機能Ⅱ-１（総合実習） ・機能看護学各論Ⅴ	○以下の科目の単位を修得していること 「生涯発達看護学各論Ⅵ」 「地域健康看護学各論Ⅴ－１」
・看護学研究Ⅱ（EBP）	○原則として、必修の専門基礎科目及び専門科目の単位を修得あるいは修得見込みであること。

（４） 卒業要件

看護学部看護学科を卒業するために必要な単位数は、次のとおりです。

区　　分	必修	選択必修	選択
教養教育科目	４	１８	区分にかかわらず１２ ※このうち、専門科目を２以上取得すること
専門基礎科目	２３		
専門科目	６２	２	
保健医療専門職共通専門科目	５		
計	９４	２０	１２

合計１２６単位以上

（５） 国家試験受験資格等に必要な履修要件

■看護師国家試験

（４）の卒業要件を満たすと、卒業時に「学士（看護学）」の学位が授与され、看護師の国家試験受験資格が与えられます。なお、看護学部の開設科目の種類、配当年次、単位数及び必修・選択の別は、授業科目・単位一覧表（看護学部看護学科・看護師課程　ｐ１８参照）のとおりです。

■保健師国家試験

平成２４年度入学生から１学年３０人を定員とする保健師課程選択制を導入しました。

保健師課程において下記単位を修得すると、卒業時に「学士（看護学）」の学位が授与され、看護師の国家試験受験資格に加え、保健師の国家試験受験資格が与えられます。なお、保健師課程の開設科目の種類、配当年次、単位数及び必修・選択の別は、授業科目・単位一覧表（看護学部看護学科・保健師課程　ｐ２０参照）のとおりです。

区　　分	必修	選択必修	選択
教養教育科目	４	１８	１０
専門基礎科目	２３		
専門科目	７０	２	
保健医療専門職共通専門科目	７		
計	１０４	２０	１０

合計１３４単位以上

□養護教諭２種免許の申請

保健師国家試験に合格した者が申請できます。

下記教養教育科目の必要単位を全て修得していることが要件となります。

・「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」、「中国語」、「フランス語」、「ポルトガル語」、「韓国語」のうち２単位

・「情報科学Ⅰ」、「情報科学Ⅱ」、「情報科学Ⅲ」のうち２単位
・「スポーツ科学Ⅰ」、「スポーツ科学Ⅱ」、「スポーツ科学Ⅲ」のうち２単位
・「法と正義」２単位

（６） 保健師課程学生選抜試験について

保健師課程を履修する場合は、選抜試験に合格する必要があります。選抜試験の概要については次のとおりです。

ア　基本方針

次の条件を満たす者とする。

１　保健師課程の学習に意欲を有する者

２　保健師としての就業を卒業時または卒業後に希望する者

３　保健師としての適性を有する者

イ　募集定員

３０人

ウ　出願資格

１　２年次のカリキュラムを履修中の者で、２年次前期セメスターまでの必修科目の単位を修得し、２年次後期セメスターの必修科目の単位を修得見込みの者

２　２年次後期セメスターまでの単位修得の合計が８０単位程度となることが見込まれる者

エ　授業料

保健師課程の履修学生に対し、追加の授業料は徴収しない。

オ　履修上の留意事項

地域健康看護学各論Ｖ－２（公衆衛生看護実習）の履修は、保健師課程学生選抜試験に合格した翌年度のみとする。

※出願期間、試験期日、合格発表日時は、「保健師課程学生選抜試験要項」に掲載します。

６　診療放射線学部の教育課程

（１）　教育目的・教育目標

ア　教育目的

本学の存在する群馬県の県民をはじめ、様々な地域に生活する多様な人々の生涯にわたる健康水準の維持、向上に貢献する方法を学ぶ。この過程を通して豊かな人間性を培い、変動する社会の中で個々の役割を担いながら、自然と共生し独自の文化を育み生活する人間に対する理解と関心を深める。

また、科学的根拠に裏付けられた専門的知識・技術及び高い倫理的判断力を身につけ、常に対象の人間としての尊厳を維持しながら、より質の高い放射線技術を提供する保健医療専門職としての基盤を築く。

イ　ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

卒業に際して、カリキュラムポリシーが定める特性を学生が身につけたかを卒業要件及び修得単位で判定し、学位を授与する。

以下に、診療放射線学部学生が卒業までに身につけるべき内容を示す。

１．幅広い教養、国際性、倫理観、コミュニケーション能力を修得することで、人間及び人類文化、並びに群馬県及び県民に対する理解を深めることができる。

２．人間の発達と健康に関する医学・生命科学的知識、放射線科学現象と技術に関する理工学的知識を修得し、あわせて専門的態度を身につけることができる。

３．診療放射線技術、画像診断、診療画像技術、医療画像情報、核医学検査技術、放射線治療技術、放射線管理計測に関する専門的知識を修得するとともに、診療放射線技師の役割と態度についての理解を深め、保健医療専門職の一員としてチーム医療を通して社会に貢献できる。

ウ　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

１．教養教育科目の学修を通して、人間及び人類文化を理解するための幅広い教養、国際性、倫理観、コミュニケーション能力を修得するとともに、群馬県及び県民に対する理解を深める。

２．専門基礎科目の学修を通して、人間の発達と健康に関する医学・生命科学的知識、放射線科学現象と技術に関する理工学的知識を修得し、あわせて専門的態度を身につける。

３．専門科目の学修を通して、診療放射線技術、画像診断、診療画像技術、医療画像情報、核医学検査技術、放射線治療技術、放射線管理計測に関する専門的知識を修得するとともに、診療放射線技師の役割と態度についての理解を深め、保健医療専門職の一員としてチーム医療を通して社会に貢献するための基礎を学ぶ。

（２）　専門教育科目の特徴

ア　専門基礎科目

人間理解、理工学的知識、臨床医学的知識に関する科目をバランスよく配置し、専門科目に発展させる基盤を獲得するための科目群です。最適な治療につながる実効性のある診断を行うためには、検査目的に合った質の高い画像を撮像し、提供する必要があります。そのためには理工学的基礎知識の他に、十分な医学的基礎知識を身につける必要があります。

「人間の発達と健康」、「放射線科学現象と技術」及び「専門職的態度の基盤」の３学科目群を配置しています。

■人間の発達と健康

「環境と健康」概論・各論を配置し、人間の内部環境が外部環境や身体的変化に応じて統一的かつ合目的的に調節される仕組みを理解します。また、「人間の発達と健康」各論Ⅰ～Ⅲは、人体の構造や機能及び様々な疾患を学修することで、正常の状態における生命現象並びに病気の原因やその発生機序を総合的に理解します。適切な撮像を行うために必要な科目であり、「画像診断技術学」、「画像診断撮像技術学Ⅰ（Ｘ線、ＣＴ検査）」、「画像診断撮像技術学Ⅱ（ＭＲＩ）」の理解を促進する内容が含まれます。

■放射線科学現象と技術

放射線は電子、陽子、中性子などの粒子放射線とγ線、X線などの電磁放射線に分けられます。放射線が対象（人、物）に当たったときにエネルギーを与えますが、その与え方（相互作用）は、物理的、化学的、生物学的現象として捉えることができます。「放射線科学現象学概論」、「放射線科学現象学各論Ⅰ（放射線物理）」、「放射線科学現象学各論Ⅱ（放射化学）」、「放射線科学現象学各論Ⅲ（放射線生物）」、「放射線科学現象学演習」を配置することで、放射線と対象との相互作用を様々な側面から学修します。さらに、現在の医療画像は大部分がデジタル画像であるため、画像再構成、画像処理に必要となる「医療数理学」、「医療情報科学」を配置しています。

また、電気・電子工学的知識を獲得するために、「医療電気・電子工学」を配置しています。

■専門職的態度の基盤

「アカデミック・スキルズ」、「相互行為展開論」、「生命倫理学」、「社会制度と福祉」、「ボランティア概論」、「人間と放射線」、「科学技術と研究」を配置し、大学での学び方、対人関係の構築の仕方、医療における倫理規範、放射線や科学技術と人間との関わり等、専門職に求められる幅広い知識や態度の基礎を学びます。

本科目群は、専門科目の「保健医療チーム連携論Ⅰ」、「保健医療チーム連携論Ⅱ（実習）」と連携し、専門職者である診療放射線技師の役割・機能を理解し、保健医療チームの一員として専門性を発揮し、地域社会に貢献するための基盤を身につけます。

イ　専門科目

多数の専門科目を、診療放射線技術、診療画像技術、医療画像情報、核医学検査技術、放射線治療技術、放射線管理計測の６学科目群に分類・配置しています。

診療放射線技術	診療画像技術	医療画像情報
核医学検査技術	放射線治療技術	放射線管理計測

専門科目では、診療放射線学の基礎的知識及び技術・態度の基礎を学びます。

また、目的に応じた適切な検査・治療を実施するための基礎的能力を段階的・系統的に学びます。

■診療放射線技術

診療放射線技師の仕事や医療チームにおける役割を理解し、検査・治療を安全かつ適切に実施するために必要な知識、技術、接遇、態度、規範を修得するための科目群です。保健医療専門職共通専門科目群とも密接に関連しています。「診療放射線学概論」、「診療放射線技術学導入実習」は大学における学修の動機付けとして１年次に履修します。また、「臨床実習概論」では、臨床実習に必要な知識、技術、接遇を集中的に学び、その能力を客観的に評価することで、実習の効果を上げようとするものです。

■診療画像技術

約 100 年前のレントゲンによるＸ線の発見と医療への応用に始まり、20 世紀後半のＣＴ・ＭＲＩの開発に伴い、画像を用いて人間の体の中を観察する技術は飛躍的な進歩を遂げました。診療放射線技師は、医師の依頼に応じて患者の検査を行い、得られた画像を提供する仕事です。診断目的に応じた質の高い画像を得るためには、読影能力を身につける必要があるとともに、医師からのオーダーの意図を正確に理解し、診断に必要な情報が画像中に正しく描出されているかを自身で判断できる必要があります。

この能力を身につけるためには、患者が罹患している可能性のある疾患に関する医学知識、人体を構成する正常の臓器・組織が透過画像、断層像上でどのように描出されるかを知る画像解剖学的知識、様々な疾患が画像上でどのように描出されるかを知る画像診断学的知識の他に、患者とコミュニケーションしながら疾患情報を正しく画像中に含めるための撮像技術、診断しやすい特性で画像を取得するための装置パラメータ及び得られる画像の特徴の理解等を合わせた、総合的な知識・技術・態度が必要になります。

「診療画像技術学概論」、「診療画像技術学Ⅰ～Ⅳ」等の科目は撮影・撮像技術の基盤を学び、「Ｘ線診断機器学」、「診療画像機器学」は装置・画像の特徴を理解し、また「画像診断撮像技術学Ⅰ（Ｘ線、ＣＴ検査）」、「画像診断撮像技術学Ⅱ（ＭＲＩ）」は読影技術の基盤を修得する科目です。

画像診断技術学は、上記の科目の他、基礎医学系の科目の知識を総合することで、画像読影技術の基礎を修得するために配置しました。画像読影技術は、画像を伴うその他の専門科目群「医療画像情報」、「核医学検査技術」及び「放射線治療技術」に対しても応用されます。

■医療画像情報

医療画像情報は、医療画像の品質と管理についての理論と応用を学ぶ画像工学とネットワークシステムを利用した医療情報システムに大別されます。

「医療画像情報学Ⅰ・Ⅱ」、「医療画像情報学演習」、「医療画像情報学実験」及び「医療画像情報解析学」は、画像工学に必要な知識・技術・態度について学ぶ科目です。「医療情報システム学」は、情報技術を用いて病院の診療機能の向上を目的とした病院情報システムと、地域を基盤とし保健・医療・福祉の向上を目的とした地域医療情報システムについて学ぶ科目です。

■核医学検査技術

核医学検査は、放射性医薬品のトレーサとしての特徴を活かした検査です。各臓器・組織に集まる化学物質に放射性核種を標識した放射性医薬品が検査部位に集積し、出て行く様子を画像化することで、対象臓器・組織の機能の評価や疾病の診断を行います。代謝測定から分子イメージング（生体内での分子プロセスの可視化）にまで応用されつつあります。

「核医学検査技術学Ⅰ～Ⅲ」、「核医学検査技術学実験」及び「核医学検査技術学実習」において核医学検査に必要な知識・技術・態度についての基盤を獲得します。

また､放射性医薬品の開発等に影響を受ける領域であることから｢核医学検査技術学演習」において最新のトピックスを学ぶ機会を提供します。

■放射線治療技術

放射線治療技術は、悪性腫瘍に罹患した患者に対して、腫瘍細胞に体外から放射線を照射し治療を行う技術です。放射線を病巣に集中させ、正常部位への照射を最小化するための方法論を学びます。疾患の状態、治療装置の特性に応じて治療効果を最大にするための基礎的な知識・技術・態度を学ぶとともに、医師・診療放射線技師・医学物理士・看護師によるチーム医療の役割、機能について学びます。

放射線治療技術の授業科目は、放射線と物質の相互作用を学ぶ「放射線科学現象学各論Ⅰ（放射線物理）」、放射線による生物学的効果を扱う「放射線科学現象学各論Ⅲ（放射線生物）」、病巣線量の計画・評価を扱う「放射線管理計測学Ⅰ」及び「放射線管理計測学Ⅱ」等により修得した基礎知識が特に必要とされているため、これらの科目の学修進度を考慮して配置しました。

また、先端医療として注目を浴びている強度変調放射線治療、陽子線、重粒子線治療技術に関しても「放射線治療技術学演習」を通して学ぶことができます。

■放射線管理計測

診療放射線技術ではＸ線、γ線を用いた検査、治療が多くの割合を占めるため、放射線の医学利用の適正化、医療被ばく軽減等に必要な放射線管理測定技術の知識・技術の理解は不可欠となります。「放射線管理計測学Ⅰ」、「放射線管理計測学Ⅱ」及び「放射線管理計測学実験」において種々の測定理論、測定器の動作原理の学修を通した放射線の品質管理を学び、「放射線管理計測学演習」において放射線施設管理・運用・使用の許認可申請等放射線安全管理を学ぶことで、放射線管理計測技術の知識・技術・態度の基盤を育成します。

ウ　保健医療専門職共通専門科目

診療放射線学部の専門性を越えて保健医療専門職に求められる知識・技術・態度を学ぶための科目です。看護学部学生との合同授業を通して、相互の役割について理解すると同時に、専

門領域の異なる保健医療専門職の共通性・相違性を学び、多職種連携のあり方を考察します。

この科目群によって､保健医療チームの一員としての診療放射線技師の役割や重要性を理解し、さらに他のチームメンバーの立場を尊重し、協働するための基礎的態度を育成します。

（３）臨床実習科目履修要件

診療放射線学部では、教育目的を達成し卒業生の質を担保する目的で臨床実習科目（診療画像技術学実習・核医学検査技術学実習・放射線治療技術学実習）の履修について次の要件を定めています。

３年後期セメスター終了時点の成績が、次の１）から３）のいずれかに該当する学生は、診療画像技術学実習、核医学検査技術学実習、放射線治療技術学実習の３科目を履修できない。

１）下記科目のうち、いずれか１科目について単位未修得の学生

診療画像技術学Ⅰａ、診療画像技術学Ⅰｂ、診療画像技術学Ⅱ、診療画像技術学Ⅲ、診療画像技術学Ⅳ、核医学検査技術学Ⅰ、核医学検査技術学Ⅱ、核医学検査技術学Ⅲ、放射線治療技術学Ⅰ、放射線治療技術学Ⅱ

２）３年後期までの必修科目のうち３科目以上単位未修得の学生

３）臨床実習概論の科目が単位未修得の学生

（４）卒業要件

診療放射線学部診療放射線学科を卒業するために必要な単位数は、次のとおりです。

区　　分	必修	選択必修	選択
教養教育科目	２	１６	７
専門基礎科目	２６	３	
専門科目	６９		
保健医療専門職共通専門科目	３		
計	１００	１９	７

合計１２６単位以上

卒業に必要な単位を取得すると、卒業時に「学士（放射線学)」の学位が授与され、診療放射線技師の国家試験受験資格が与えられます。

なお、診療放射線学部の開設科目の種類、配当年次、単位数及び必修・選択の別は、次ページの一覧表のとおりです。

７　履修の手引き

（１）　単位

卒業するためには、４年以上在学し１２６単位以上を修得しなければなりません。

単位とは､学修の量を示す目安となるもので､修得単位数によって卒業の可否が判定されます。１単位は４５時間であり、この４５時間には自己学修時間が含まれます。単位の計算方法は、授業形態や授業の効果により次のように異なります。

■講義・演習

１単位を修得するために必要な授業時間は１５～３０時間､自己学修時間は１５～３０時間です。（注：本学では９０分の授業時間を２時間とみなします。）

■実験・実習・実技

１単位を修得するために必要な授業時間は３０～４５時間､自己学修時間は０～１５時間です。

大学では、教室内での授業時間が全てではありません。学科目修了時の試験や課題は、皆さんの自主的な学修を前提としており、これに合格した場合に単位が修得できる仕組みとなっています。

（２）履修

本学の学科目には、次の４種類があります。

■必修科目

必ず履修しなければならない科目です｡全ての必修科目について単位を修得しないと卒業できません。

■選択必修科目

本学が指定した複数の科目の中から、自分の興味・関心により自由に選択できます。

この科目の単位を修得していないと、卒業できません。

■選択科目

大学が指定した複数の科目の中から、自分の興味・関心により自由に選択できます。教養教育科目に関しては､幅広い教養を身に付けていただきたいという本学の理念から、４つの学科目群ごとに最低必要な単位数を定めています｡この単位数を修得していないと卒業できません。（注：最低必要単位数は、学部により異なります。）

卒業するためには、４年間に各学部が定める単位数を修得する必要があります。３・４年次になると専門科目が多くなるため､教養教育科目の選択が困難になります｡計画的に履修してください。

■自由科目

自分の興味・関心により自由に選択できますが、卒業要件としての単位数には加算されません。自由科目以外の科目で卒業に必要な単位（１２６単位以上）を修得する必要があります。

ア　履修計画

履修計画は、授業計画（シラバス）、本冊子に記載されている「授業科目・単位一覧」及び「卒業要件」を参考にして自分で立案する必要があります。内容をよく確認し、効果的な学修計画を立案してください。

なお、履修計画に関する質問は、カリキュラム・アドバイザー（ｐ３４参照、以下「ＣＡ」という。）に相談できます。

イ　履修登録

履修登録とは、前期セメスター及び後期セメスターの開始時に、各セメスターで履修する科目を届け出る手続きのことです。履修登録をしていない科目については、試験を受けられず、単位も認められません。登録を怠れば、当該セメスターにおける履修の権利を放棄したことになります。

履修科目は、皆さんの自己責任において決定し、必ず所定の期日までに学務システムにより履修登録を行うとともに、ＣＡと相互に確認をしてください。なお、履修登録手続きに関する問い合わせは、事務局で受け付けています。

登録には、一定の変更期間を設けますが、変更期間終了後の変更はできませんので、注意してください。

なお、学務システムの操作方法については「学務システム操作方法」の頁（ｐ３６）を参照してください。

履修登録の流れ

セメスター開始
↓
履修計画作成（適宜、ＣＡに相談）
↓
履修登録関係書類を使用し、ＣＡと履修登録内容を確認
↓
学務システムにより履修登録
↓
学務システムの履修登録確認表画面を写真又はＰＤＦファイルでＣＡに送信し、履修登録内容を確認*
↓
学務システムにより履修登録状況確認
↓
(変更する場合)
学務システムにより変更登録*
ＣＡに相談（履修登録確認画面をＣＡに送信）
↓
学務システムにより変更後の履修登録状況確認

＊締め切り日は別途指定します。

ウ　履修制限

１年間に登録できる履修科目の上限は４９単位です。これには他大学との単位互換による単位数を含みます。ただし、次の条件を全て満たす方は、履修上限を年間５４単位とすることができます。①前年度４０単位以上修得している。②前年度の年間ＧＰＡが３．０以上である。

同一時限に重複する授業科目の履修は認められません。時間割が年度途中に変更となる場合もありますので、事務局掲示板等の掲示物は、必ず確認する習慣をつけてください。

また、ある一定の条件を満たさないと履修できない科目がありますので注意してください。履修希望者が定員を超えた選択科目に関しては、履修を制限し、必要に応じて抽選等を行う場合があります。

なお、時間割の調整が可能であり、他の科目の学修に支障をきたさない場合に限り、すでに単位を修得した科目を再履修することが可能です。この場合、新たに履修した際の成績が優先されます。一度合格した科目が再履修の結果不合格になった、あるいは成績が下がった場合にも、その結果で卒業の可否が判断されますので十分留意してください。

（３）授業

授業の時間割はオリエンテーション時に配付されます。履修者数その他の事情により、教室や時間が変更されることもあります。その場合は、事務局掲示板に掲示しますので注意してください。

また、選択科目において、履修者数が著しく少ない場合は開講しないことがあります。

（４）授業時間

本学の授業時間は次のとおりです。

時　限	授　業　時　間
Ⅰ時限	９：００～１０：３０
Ⅱ時限	１０：４０～１２：１０
Ⅲ時限	１３：００～１４：３０
Ⅳ時限	１４：４０～１６：１０
Ⅴ時限	１６：２０～１７：５０

（５）休講

担当教員にやむを得ない事情が発生した場合などに、授業を休講することがあります。

休講の場合は、学務システムにて連絡するか事務局掲示板に掲示します。

休講の連絡・掲示がないにもかかわらず、授業開始後３０分以上経過しても担当教員が入室しない場合は、事務局に連絡し、その指示に従ってください。

（６）単位認定

各授業科目の単位認定方法は、試験、レポート、演習課題など科目ごとに異なります。各科目が、どのような評価方法で単位認定を行うかは、授業計画（シラバス）に記載してありますので、よく確認してください。

単位認定試験の日時や教室は、担当教員が指定します。普段の授業と異なる場合もありますので、欠席や遅刻のないように注意してください。

（７）試験等

ア　単位認定試験

単位認定試験は、各セメスターの期間ごとに行う試験です。

以下の各項に該当する学生は試験を受けることはできません。

■出席数が、所定の授業時間数の３分の２に満たない者。
ただし、忌引、公の証明書のある事故、その他正当な事由がある場合は欠席に含めないことがあります
■授業料などの納付金を定められた期日までに納入していない者
■休学、停学中の者
■当該科目の履修登録を行っていない者

受験の際には、原則として学生証を提示してください。
その他、試験に関して不明な点は該当科目の科目責任者に確認してください。

イ　追試験

病気、忌引き、交通事故その他やむを得ない理由により、単位認定試験を欠席した者に対して実施します。

追試験を受けようとする学生は、追試験願と単位認定試験を受けられなかったことを証明する書類（診断書や各種証明書等）を指定された日（単位認定試験実施後３日以内）までに提出してください。ただし、追試験願を提出しても、許可されなければ受験できません。

ウ　再試験

再試験は、認定試験及び追試験の不合格者に対して行う試験です。本学では、当該授業科目の担当教員が必要と認めた場合に行うことがあります。再試験を行う場合、その日時・教室等は科目責任者が指定します。

なお、再試験の成績はD以下となりますので、注意してください。

エ　不正行為

試験等において不正行為があった場合､そのセメスターにおける全科目（通年科目を含む）の単位が無効となります。また、悪質な場合は懲戒処分を行います。詳細についてはⅥ 学則等に掲載の「群馬県立県民健康科学大学試験等の不正行為に対する処置規程」を必ず確認してください。

＜試験等の不正行為に該当する主な行為＞

■試験
・カンニングペーパーの使用
・他人の答案を写す、自分の答案を他人に見せる
・携帯電話等の使用

■レポート・論文
・他人の作成した論文やインターネット上の文章を写す（いわゆるコピペ）
・他人に論文を作成させる、他人に代わり論文を作成する

（８）評価

ア　成績評価

成績評価は、科目担当教員による試験（筆記・口頭・実技など）、レポート、実習記録など

に基づいて行われます。

評価は１００点満点とし、それぞれA、B、C、D及びFで表し、D以上は合格、Fは不合格とします。

判定	評価	評点	評価基準	ＧＰ
合格	A	90～100 点	授業科目の目標を十分に達成し、優秀な成果をおさめている	4
	B	80～89 点	授業科目の目標を十分に達成している	3
	C	70～79 点	授業科目の目標をおおむね達成している	2
	D	60～69 点	授業科目の目標を最低限度達成している	1
不合格	F	60 点未満	授業科目の目標を達成していないので再履修が必要である	0

イ　ＧＰＡ制度

本学は、授業科目ごとに学修を評価するほか、グレード・ポイント・アベレージ（Grade Point Average　以下「ＧＰＡ」という。）を用いて学修指導を行います。ＧＰＡは、授業科目の成績に応じてグレード・ポイント（以下「ＧＰ」という。）を定め、当該授業科目の単位数を乗じ、その合計を履修した授業科目の総単位数で除して算出します。

ＧＰＡ制度は、成績をより厳格に評価することができるとともに、皆さんの学修意欲を高める他、卒業時の学力を保証するなどの意義があります。大学における学修活動を自己評価するための客観的な資料を皆さんに提供するだけでなく、教員に対しても授業を自己評価するための情報を提供し、究極的には、大学全体の教育の質を高めることを目指しています。本学では、ＧＰＡを各種奨学生等の選考の際の資料とし、卒業時の成績証明書に記載します。

欧米の大学へ留学する際にも、ＧＰＡ値の提示を求められることがあります。そのためにも常にＧＰＡを意識して学習することが必要となります。

ＧＰＡには、セメスターＧＰＡと累積ＧＰＡがあり、その計算方法は次のとおりです。

（小数点第２位を四捨五入）

$$\text{セメスターＧＰＡ} = \frac{\text{（当該学期において履修した各授業科目の単位数×各授業科目のＧＰ）の和}}{\text{当該学期において履修した各授業科目の単位数の和}}$$

$$\text{累積ＧＰＡ} = \frac{\text{（全ての学期において履修した各授業科目の単位数×各授業科目のＧＰ）の和}}{\text{全ての学期において履修した各授業科目の単位数の和}}$$

■新入学生の既修得単位認定に関する規程、外国留学規程に基づいて認定された単位については、ＧＰＡ算出の対象としません。

■授業科目を再履修したときは、累積ＧＰＡについては、再履修前における当該授業科目の単位数を除いて算出します。

■不合格となった科目は、再履修しない限りＧＰ＝０として計算されます。

■前・後期セメスターを通して開講する科目（通年科目）のＧＰは、単位認定を受けた時点のセメスターＧＰＡに反映されます。

セメスターＧＰＡが２．０未満の場合は、カリキュラム・アドバイザーの指導を受ける必要があります。さらに３セメスター連続でセメスターＧＰＡが２．０未満の場合、退学を含めた指導・勧告を行う場合があります。必要に応じて保護者の方にも連絡する場合がありますので十分留意してください。ＧＰＡ等の成績は、原則として、当該セメスター終了時に学務システム上に掲載するとともに、保護者（保護者がいない場合には保証人）宛てに送付します。履修登録と学力保証の基礎資料として活用してください。

ＧＰＡ制度本来の目的は、大学全体の教育の質の向上と学力の保証です。カリキュラム・アドバイザー制度等を十分に活用し、退学勧告等の事態が生じないよう自律的に学修活動を改善していただくことを期待します。

ウ　成績に関する異議申し立て制度について

本学では、各セメスターの成績を配付する際に、学生の皆さんから成績評価に関する疑義を受け付けます。これは、学生側から申し立てを受けることによって、評価を是正する機会を設けることと、学生と教員間の意思疎通を図り評価の透明性を確保することを目的としています。異議申し立ての期間はセメスターごとに設定しますので、詳しくは各セメスターの始めに配付される「成績に関する異議申し立てについて」を参照してください（書面の配付に代えて学務システムに掲載となる場合があります）。なお、「頑張ったのになぜ評価が悪いのか」といった個人的見解に偏った疑義には対応しない場合があります。申し立ての内容には客観的かつ明確な根拠を記載してください。

８　カリキュラム・アドバイザー

本学は、カリキュラム・アドバイザー（以下、「ＣＡ」という。）を配置し、皆さんの履修計画の円滑化及び効果的な学修活動を支援します。

ＣＡは、各セメスター開始時に皆さんの履修計画に関して随時相談に応じます。また、全セメスターにおけるＧＰＡに基づいて、学修上の相談に応じます。

ＣＡに相談する際には、あらかじめアポイントメントを取り、成績通知書と履修計画表を持参してください。

学務システムによる履修登録を行う前後に、ＣＡの確認が必要となります。

９　既修得単位の認定

大学又は短期大学等を卒業又は中途退学し本学に入学した者については、その大学又は短期大学等で修得した科目について、本学で修得した単位と認める場合があります。

希望者は、事務局にて所定の手続きを行ってください。

１０　県内公立３大学との単位互換について

本学では、県内公立３大学（県立女子大学、前橋工科大学、高崎経済大学）と単位互換協定を締結しています。これにより、平成２５年度より３大学において指定された授業科目を受講し単位を修得

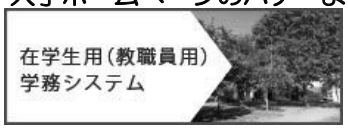
した場合、本学で修得した単位と認める場合があります。
詳しくは事務局までお問い合わせください。

１１　学務システム操作方法

Webシステム操作方法

●アクセス・ログイン方法●

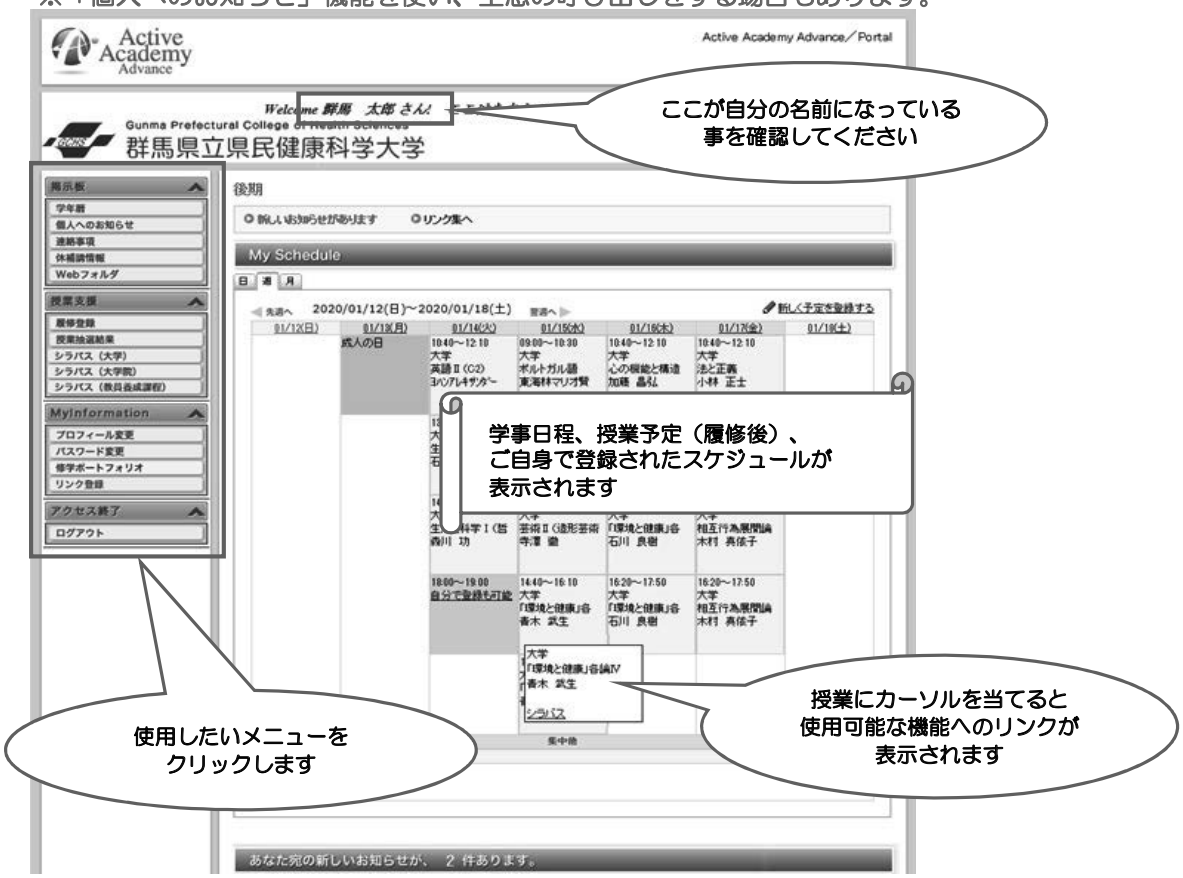
1、学務システム（ActiveAcademy）にアクセスする。
大学ホームページのバナーよりお入りください。



URL　https://portal.gpwu.ac.jp/pt_webk/

2、ユーザーID、パスワードを入力

3、ログイン後、左側メニューをクリックすると該当ページへ遷移します。
【注意】
「個人へのお知らせ」「連絡事項」「休補講情報」は必ず毎日確認すること。
※「個人へのお知らせ」機能を使い、至急の呼び出しをする場合もあります。



【注意】
ActiveAcademyの画面内で、ブラウザの「戻る」ボタンを使用するとエラーになります。
各種画面の遷移は、画面内のタイトルやメニューをクリックして下さい。

各メニュー機能の説明

●学年暦
当年度の学年暦、祝日を確認できます。

●個人へのお知らせ
あなた宛に届いた「個人へのお知らせ」を確認できます。

●連絡事項
あなた宛に届いた「連絡事項」を確認できます。

●休補講情報
履修している授業の休講情報、補講情報、教室変更の連絡が確認できます。

●Ｗｅｂフォルダ
学年暦や時間割、各種様式を確認・ダウンロードできます。

●履修登録
履修登録を行います。

●抽選授業結果確認
抽選授業の当落結果を閲覧できます。

●シラバス（大学）（大学院）（教員養成課程）
シラバスを閲覧できます。

●プロフィール変更
個人の住所や電話番号、メールアドレス等を入力します。
保護者の氏名・住所・電話番号も必ず入力してください（指定期間のみ登録可）。

あなた宛に届いた個人へのお知らせや連絡事項等は登録したメールアドレスに送信されます。
ただし、すべてのお知らせや連絡事項が送信されるわけではなく、緊急や重要なお知らせのみになります。
定期的にシステムへログインして、あなた宛の連絡があるかを確認してください。
※プロフィール変更方法は、５０ページ参照

●パスワード変更
パスワードが変更できます。変更したパスワードは忘れないようにしてください。

●修学ポートフォリオ
ご自身の各種個人情報が確認できます。
（保証人保護者情報、成績表、履修情報）
※成績の確認方法は、５１ページ参照

●リンク登録
TOPページ最下部にリンクを登録できます。

●ログアウト
終了する場合は、ログアウトをクリックしてください。

システム使用上の注意点

●ブラウザの「戻る」ボタンは、使用しないようにしてください。
ページ上部にある各サブシステムへのリンクをクリックして画面遷移してください。
●ブラウザの「戻る」ボタン使用やタイムアウト等によりエラーとなった場合は、最初からログインし直してください。
●４０分間アクションがない場合（放置）は、タイムアウトになります。残り時間が左上に表示されます。延長したい場合には右隣の「時間を延長する」ボタンを押下してください。

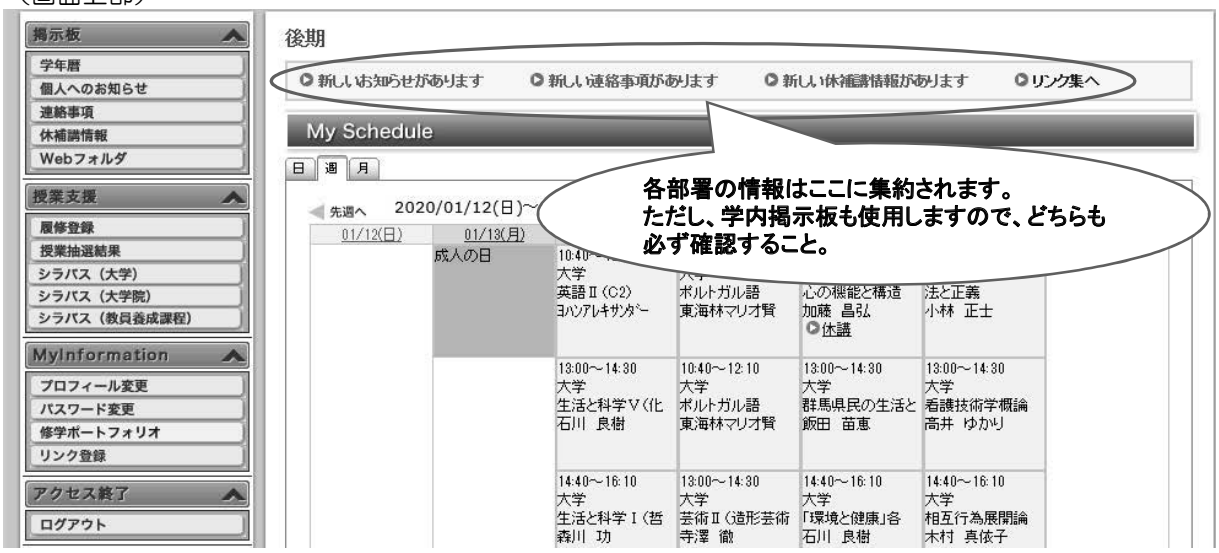
●掲示板●

あなたの履修登録している時間割や、あなた宛のお知らせ、連絡事項が掲示されます。毎日確認してください。

なお、学年暦上の曜日の振替は、この時間割には反映されませんのでご注意くだ
では表示されません。ご注意ください。

1、閲覧方法

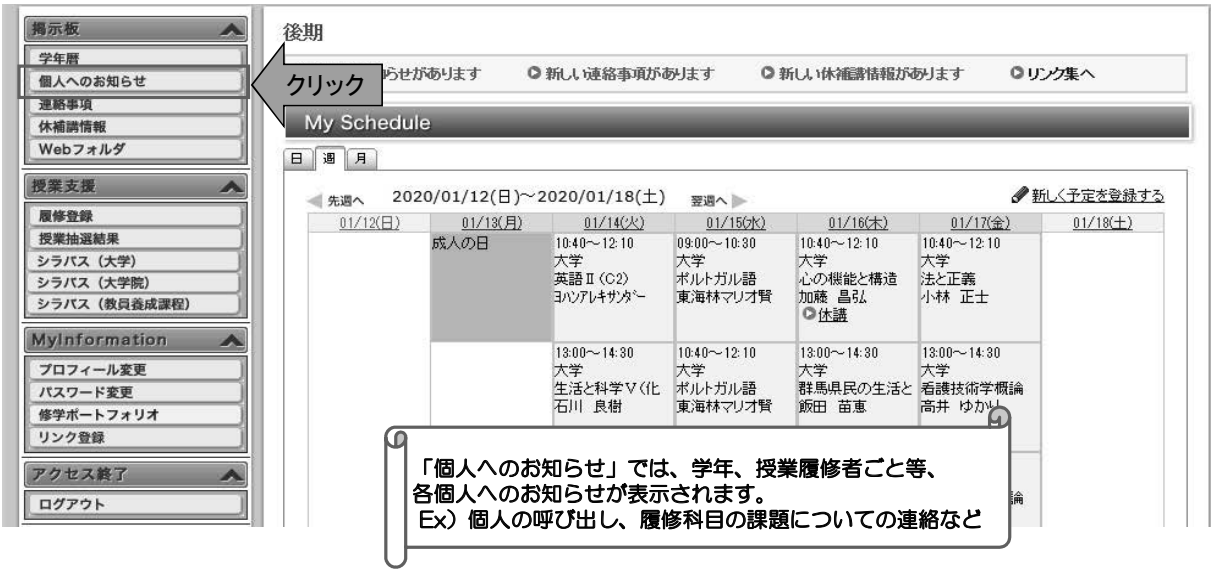
（画面上部）



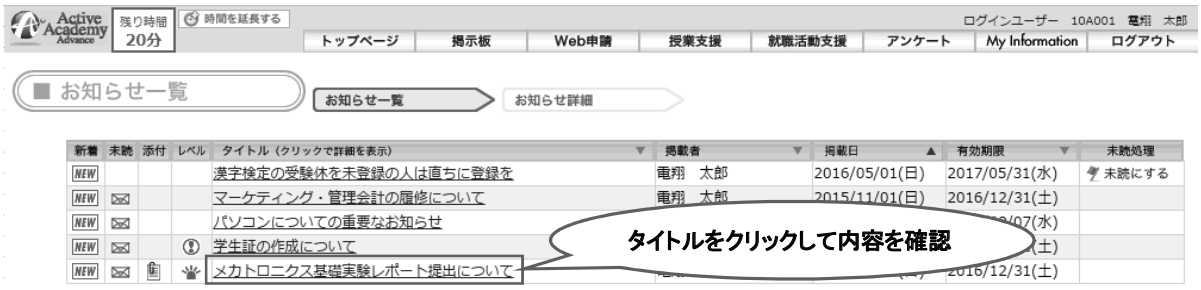
（画面下部）

2、個人へのお知らせ

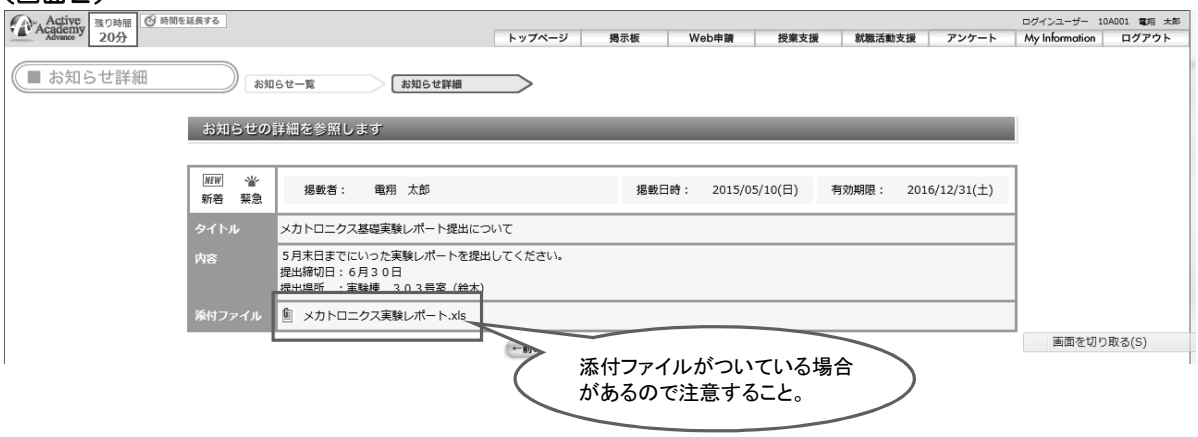
あなたあてのお知らせがある場合には、こちらから確認できます。



（画面１）

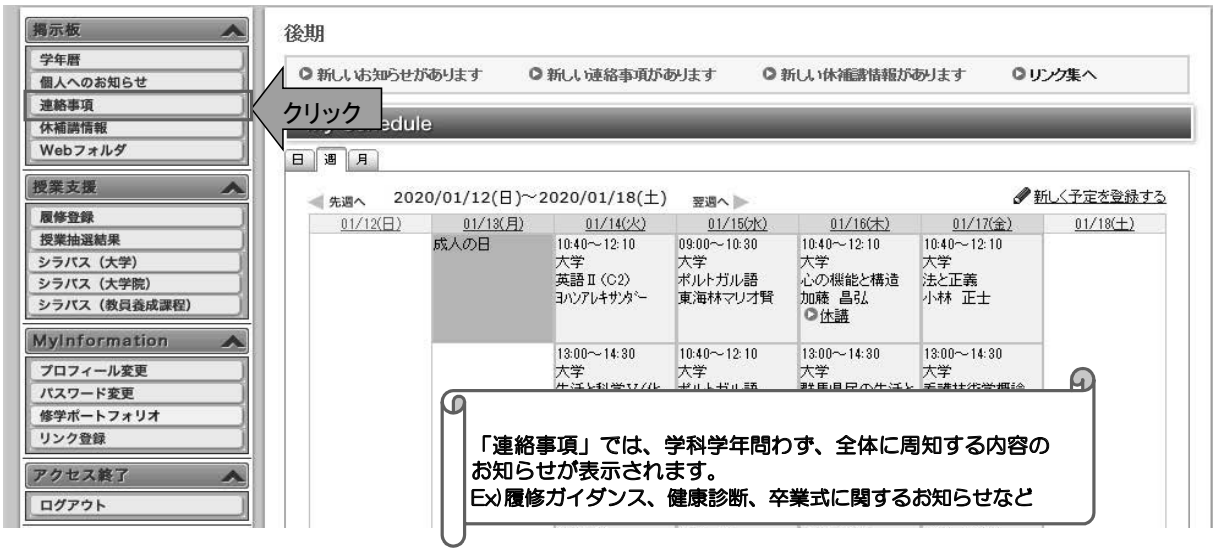


（画面２）



3、連絡事項

あなたあての「連絡事項」がある場合にはこちらから確認できます。
なお、「連絡事項」は全体に周知する内容のお知らせです。

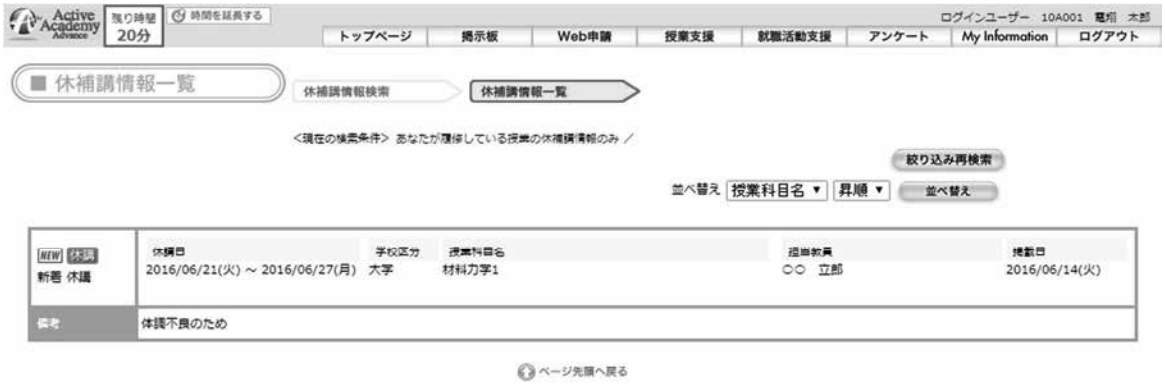


（画面１）

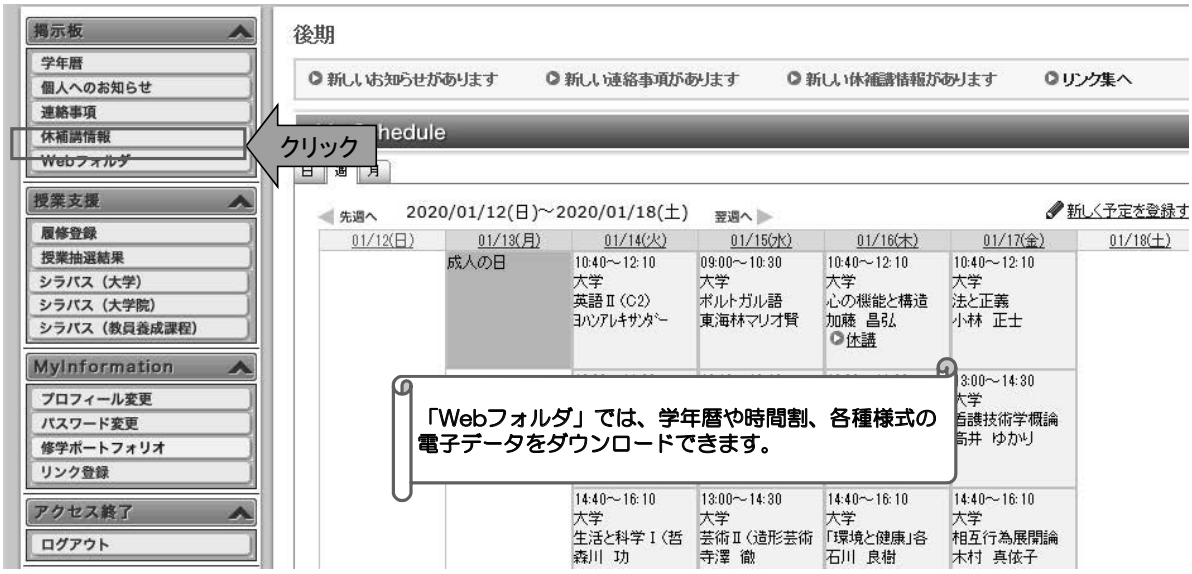
４、休補講情報

掲示板
学年暦
個人へのお知らせ
連絡事項
休補講情報
Webフォルダ
授業支援
履修登録
授業抽選結果
シラバス（大学）
シラバス（大学院）
シラバス（教員養成課程）
MyInformation
プロフィール変更
パスワード変更
修学ポートフォリオ
リンク登録
アクセス終了
ログアウト
クリック
後期
新しいお知らせがあります
新しい連絡事項があります
新しい休補講情報があります
リンク集へ
日
週
月
先週へ
2020/01/12(日)～2020/01/18(土)
翌週へ
新しく予定を登録する
01/12(日)
01/13(月)
01/14(火)
01/15(水)
01/16(木)
01/17(金)
01/18(土)
成人の日
10:40～12:10
大学
英語Ⅱ（C2）
ﾖﾊﾝｱﾚｷｻﾝﾀﾞｰ
09:00～10:30
大学
ポルトガル語
東海林マリオ賢
10:40～12:10
大学
心の機能と構造
加藤 昌弘
休講
10:40～12:10
大学
法と正義
小林 正士
13:00～14:30
大学
生活と科学Ⅴ（化
10:40～12:10
大学
ポルトガル語
13:00～14:30
大学
群馬県民の生活と
13:00～14:30
大学
看護技術学概論
「休補講情報」では、自分が履修登録している科目の
休補講情報が確認できます。

（画面１）


Active Academy Advance
残り時間
20分
時間を延長する
ログインユーザー 10A001 葛飾 太郎
トップページ
掲示板
Web申請
授業支援
就職活動支援
アンケート
My Information
ログアウト
休補講情報一覧
休補講情報検索
休補講情報一覧
<現在の検索条件> あなたが履修している授業の休補講情報のみ /
絞り込み再検索
並べ替え
授業科目名
昇順
並べ替え
NEW 休講
新着 休講
休講日
2016/06/21(火) ～ 2016/06/27(月)
学校区分
大学
授業科目名
材料力学1
担当教員
○○ 立郎
掲載日
2016/06/14(火)
備考
体調不良のため
ページ先頭へ戻る

5、Webフォルダ



（画面１）

● 履修登録手順●

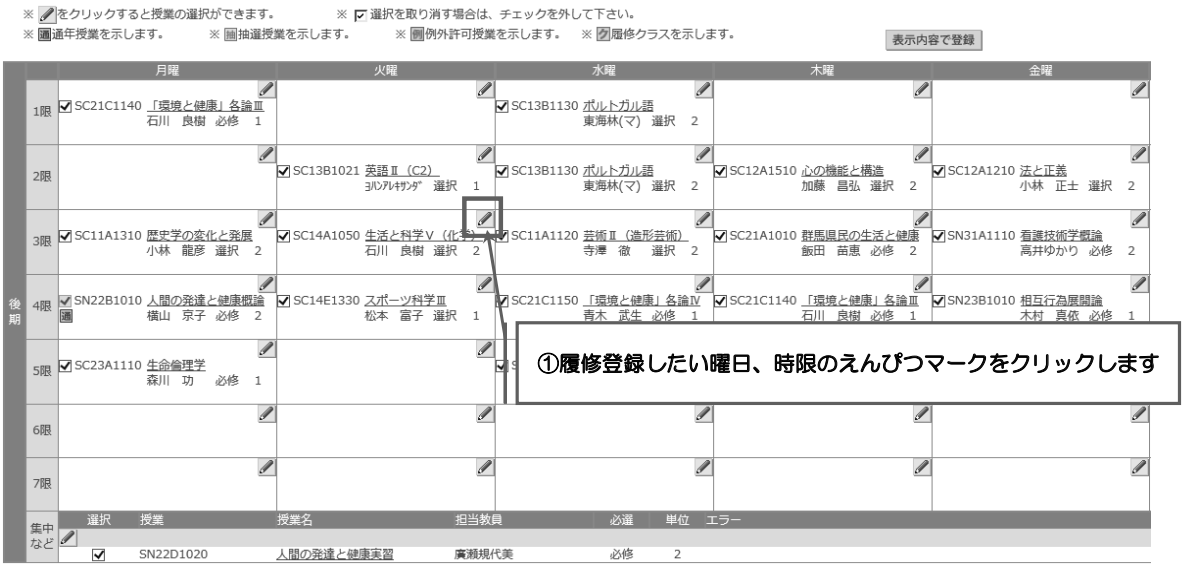
1、ログイン後に、左側メニューの「履修登録」をクリックする。

（画面１）　　【以下の画面はイメージ図】

2、履修する授業を選択します。

●履修する授業の曜日・時限にある鉛筆マークをクリックします。

画面１　履修登録入力

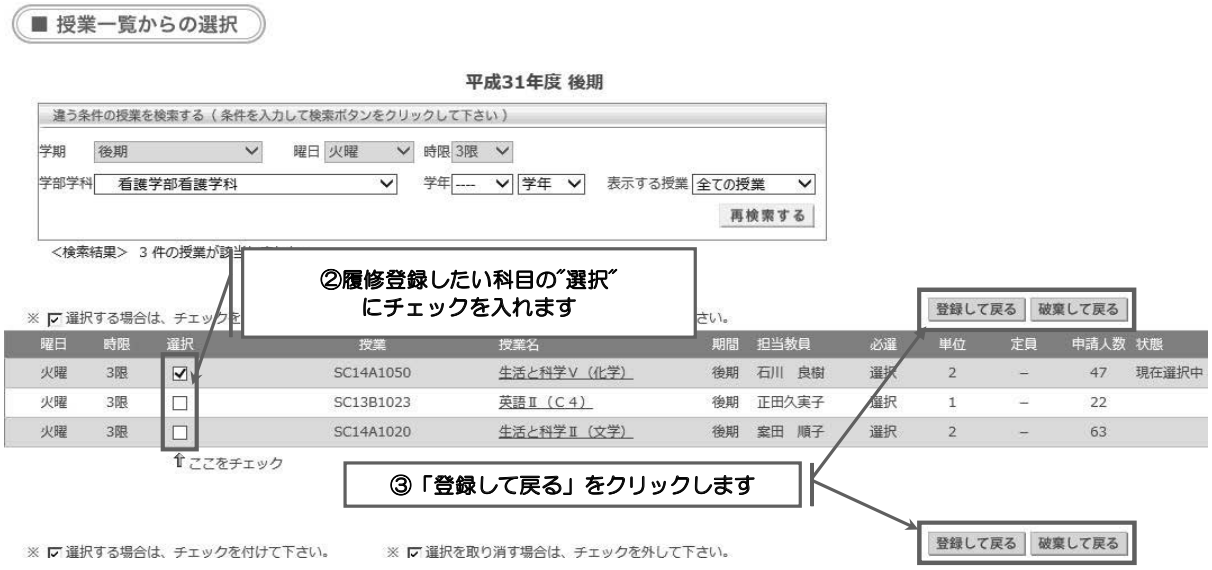


3、履修する授業を選択します。

●クリックした曜日・時限に、自分の学科と学年に配当されている、履修可能授業の一覧が表示されます。
この中から履修する授業を選択してチェックを付けます。

●チェックを付けたら、「登録して戻る」をクリックします。
●授業を登録せずに入力画面に戻るときは、「破棄して戻る」をクリックします。

画面２　授業一覧からの選択



＜ 授業名の前にある記号 ＞

通 通年授業を示しています。

抽 抽選授業を示しています。

＜ 定員と申請人数について ＞

授業によって、定員数が決まっている授業があります。
定員が定められている授業は、定員を超えると履修出来ません。
定員を超えた場合の履修者決定方法については各授業の中で伝達されます。
学務システム上で抽選を行う場合は、当落結果をWeb上で通知しますので、各自確認の上、落選の場合には履修登録変更期間に変更登録手続きを行ってください。

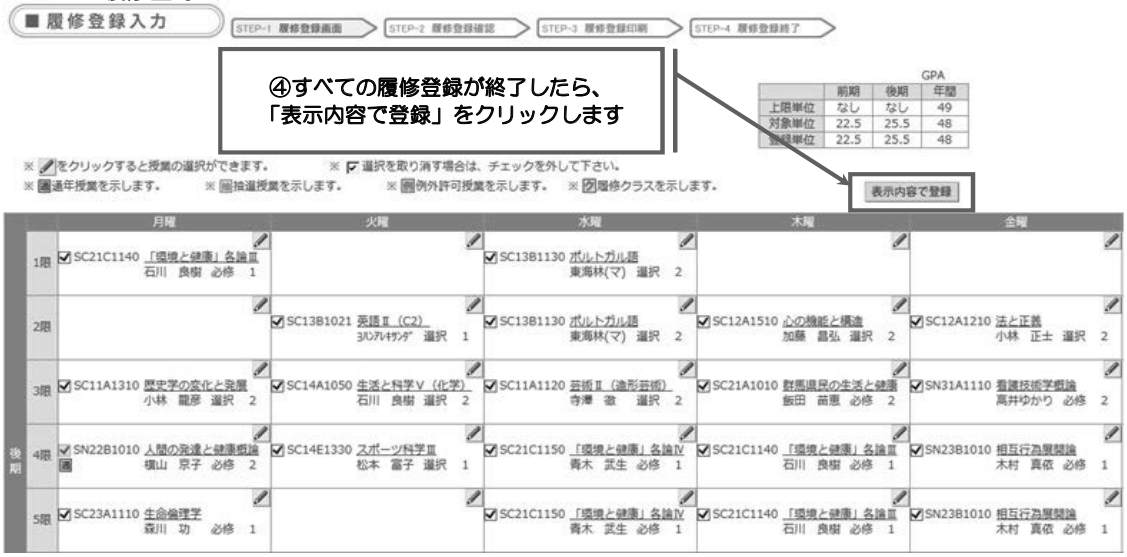
画面１　履修登録入力

●一度選択した授業を取り消す場合は、授業名称左のチェックを外します。
●別の授業に変更する場合は、鉛筆マークをクリックして、選択済みの授業のチェックを外し、別の授業を選択します。
●この手順で、それぞれの曜日時限に履修する授業を選択していきます。

４、選択した授業を登録します。

●それぞれの曜日時限で履修する授業の選択を終えたら「表示内容で登録」をクリックします。
●エラーチェックが行われます。
●エラーチェックの結果には[エラー無し]、［エラー］、［警告］の３種類があります。

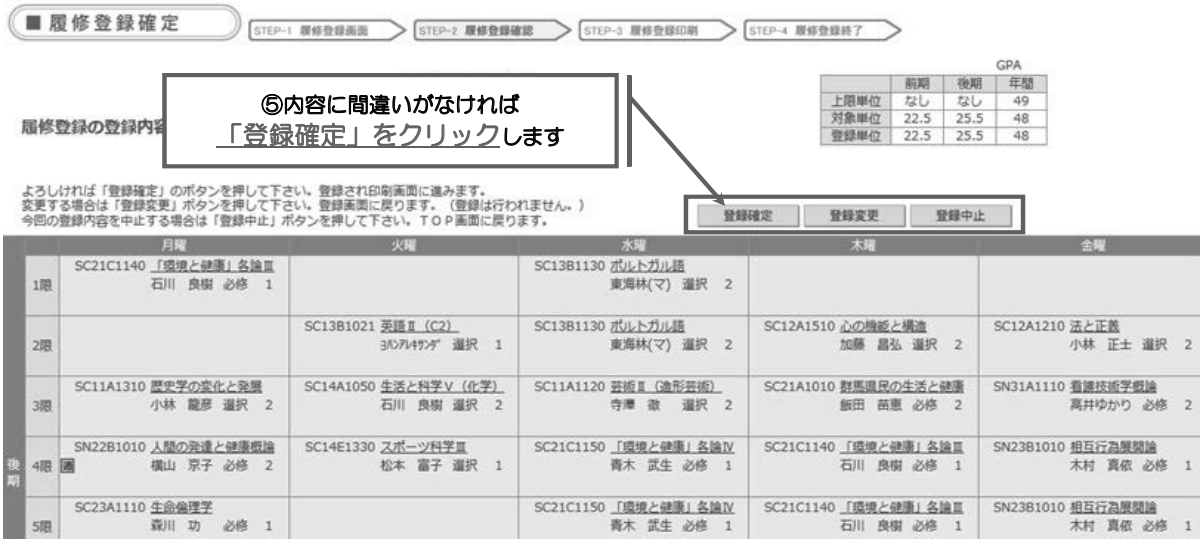
画面１　履修登録入力



5、エラー無しの場合（登録の確定）

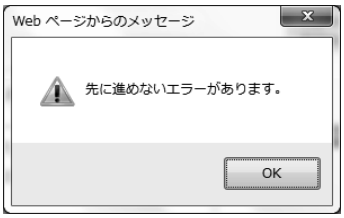
●入力した内容を確認します。
●これでよければ「登録確定」をクリックします。
●授業を変更するときは、「登録変更」をクリックして履修登録入力画面に戻り、再度授業を選択し直します。
●履修登録を取りやめるときは「登録中止」をクリックします。

画面４　履修登録確定



6、エラーがある場合

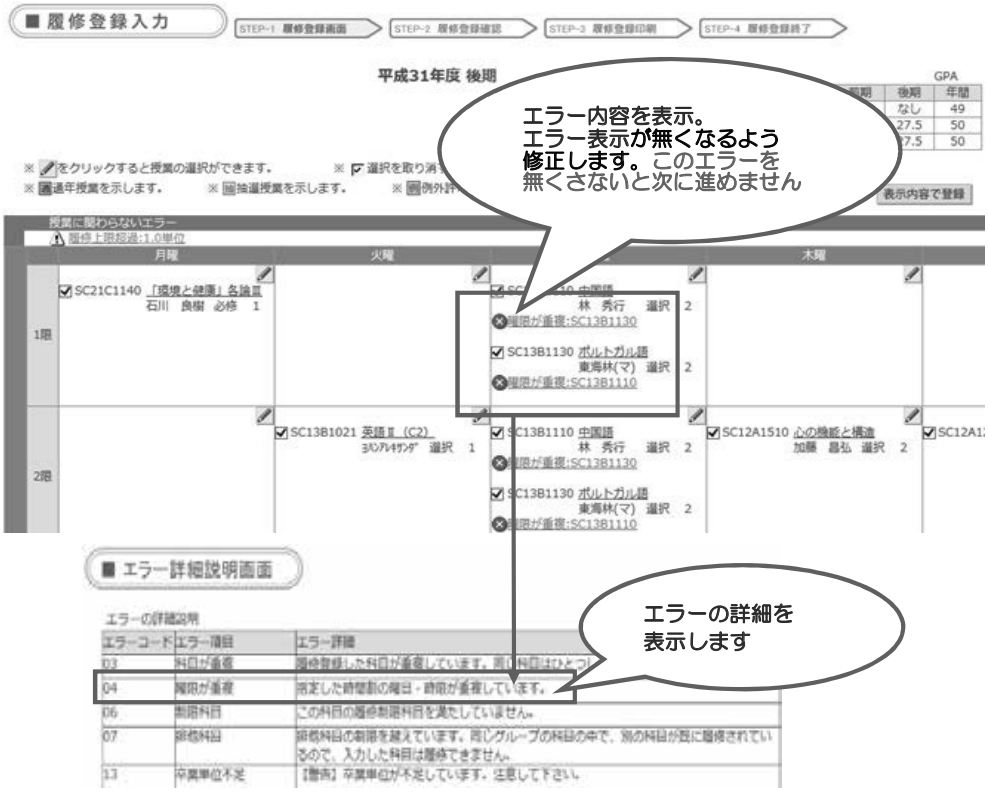
●「表示内容で登録」をクリックしたとき、エラーがある場合は、
　次のメッセージウィンドウが表示されて履修登録入力画面に戻ります。



●履修登録入力画面では、履修エラーが発生した部分に、エラーマークと、エラー内容が表示されています。
●エラー内容の部分をクリックすると、エラーの詳細内容が、別ウィンドウで表示されます。
●詳細を確認し、エラーが発生した部分の履修を変更してください。

●すべての曜日時限でエラーが無くなると、「表示内容で登録」をクリックしたときに、履修登録確定画面が
　表示されるようになります。エラーが無くならないと、登録が確定できません。

画面１　履修登録入力



7、警告がある場合

●「表示内容で登録」をクリックしたとき、警告がある場合は、履修登録確定画面に進みます。
●履修登録確定画面では、警告が発生した部分に、警告マークと、警告内容が表示されています。
●警告内容の部分をクリックすると、エラーの詳細内容が、別ウィンドウで表示されますので、必ず詳細を確認してください。

画面４　履修登録確定

8、登録を終了します。

●履修のエラーがなく、履修登録確定画面で「登録確定」をクリックすると、履修登録印刷画面に移ります。

画面５　履修登録印刷画面

●「確認表を印刷」をクリックすると、履修登録内容をPDF形式で表示します。
この画面を写真またはPDFファイルでカリキュラムアドバイザーに送信し、履修登録内容を確認してください。
※この画面が表示されない場合は、ブラウザのポップアップブロックを解除してください。

平成31年度　履修登録確認表　（後期）

2019年12月23日 17:21:40　1頁

学生所属	学籍番号	学生氏名
看護学部看護学科　1学年		群馬　太郎

	前期	後期	年間
上限単位	なし	なし	49
上限対象単位	22.5	25.5	48
登録単位	22.5	25.5	48

後期

曜日	時限	期間	授業ｺｰﾄﾞ	授業科目名	担当教員名	必選	単位	教室名	抽選	備考	エラー内容
月	1	後期	SC21C1140	「環境と健康」各論Ⅲ	石川　良樹	必修	1				
	2										
	3	後期	SC11A1310	歴史学の変化と発展	小林　龍彦	選択	2				
	4	通年	SN22B1010	人間の発達と健康概論	横山　京子	必修	2				
	5	後期	SC23A1110	生命倫理学	森川　功	必修	1				
	6										
	7										
火	1										
	2	後期	SC13B1021	英語Ⅱ（C2）	ﾖﾊﾝﾌﾞﾚｷｲﾝｸﾞﾀｰ	選択	1				
	3	後期	SC14A1050	生活と科学Ⅴ（化学）	石川　良樹	選択	2				
	4	後期	SC14E1330	スポーツ科学Ⅲ	松本　喜子	選択	1				
	5										
	6										
	7										
水	1	後期	SC13B1130	ポルトガル語	東海林マリオ賢	選択	2				
	2	後期	SC13B1130	ポルトガル語	東海林マリオ賢	選択	2				
	3	後期	SC11A1120	芸術Ⅱ（造形芸術）	寺澤　徹	選択	2				
	4	後期	SC21C1150	「環境と健康」各論Ⅳ	青木　武生	必修	1				
	5	後期	SC21C1150	「環境と健康」各論Ⅳ	青木　武生	必修	1				
	6										
	7										
木	1										
	2	後期	SC12A1510	心の機能と構造	加藤　昌弘	選択	2				
	3	後期	SC21A1010	群馬県民の生活と健康	飯田　苗恵	必修	2				
	4	後期	SC21C1140	「環境と健康」各論Ⅲ	石川　良樹	必修	1				
	5	後期	SC21C1140	「環境と健康」各論Ⅲ	石川　良樹	必修	1				
	6										
	7										
金	1										
	2	後期	SC12A1210	法と正義	小林　正士	選択	2				
	3	後期	SN31A1110	看護技術学概論	高井　ゆかり	必修	2				
	4	後期	SN23B1010	相互行為展開論	木村　真依子	必修	1				
	5	後期	SN23B1010	相互行為展開論	木村　真依子	必修	1				
	6										
	7										
土	1										

1 / 2

完了

●「登録終了」ボタンをクリックすると、履修登録終了です。

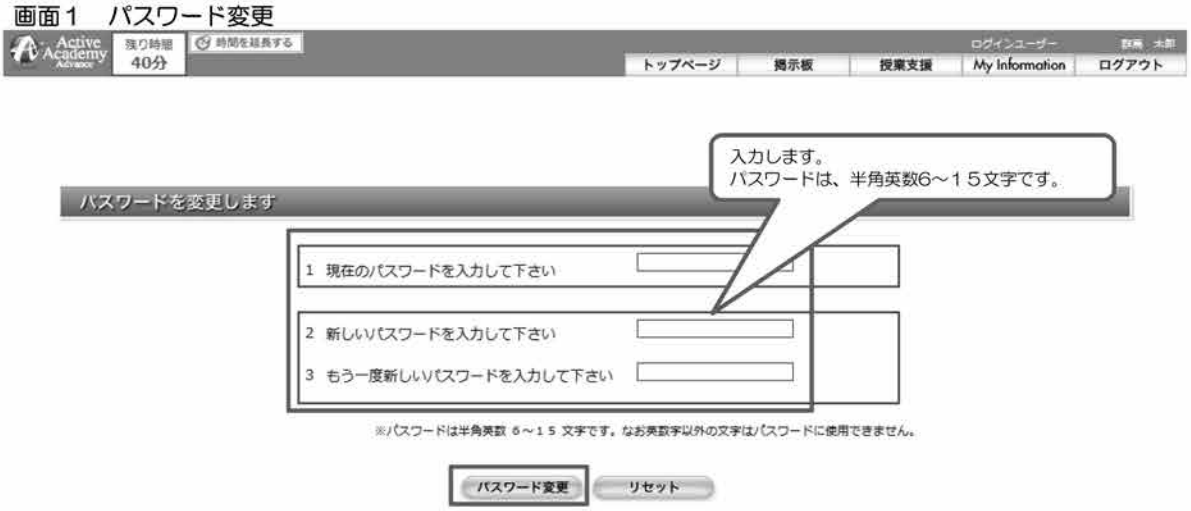
● パスワード変更手順●

1、ポータル画面より、パスワード変更を起動します。

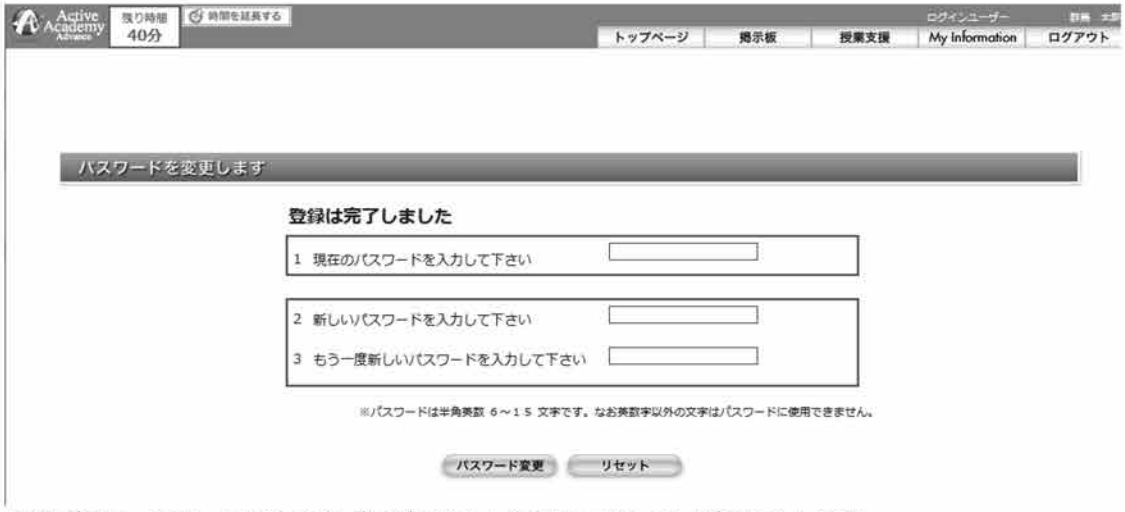
2、パスワードを変更します。

現在のパスワードを入力したあと、新しいパスワードを２回入力し、「パスワード変更」をクリックします。

画面１　パスワード変更



パスワード変更が完了します。

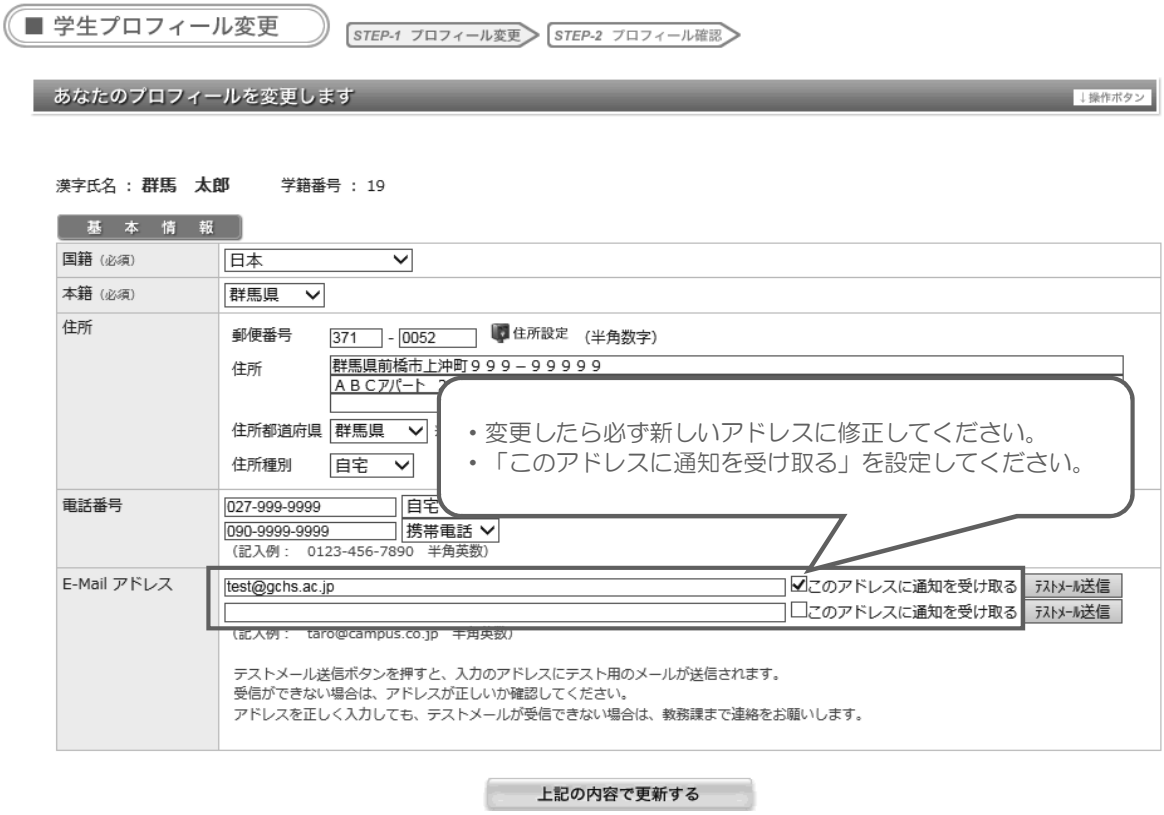


作業が終わったら、画面右上の「ログアウト」をクリックしてログアウトします。

● プロフィール変更手順●

1、ポータル画面より、プロフィール変更を起動します。

2、変更内容を入力します。なお、メールアドレスが変わった場合には必ずプロフィールの
アドレス情報も更新してください。



※自宅住所や保護者の住所が変更になった場合には、学生図書係へ住所変更届も提出してください。
なお、様式はWebポータルからダウンロードできます。

※保護者や保証人の情報は、指定された期間にのみ登録・編集できます。
特に保護者氏名・住所は、大学からの重要な書類の送付に使用しますので、必ず期間内に正しく登録してください。

●修学ポートフォリオの確認●

自分の成績・履修情報を確認できます。

（画面１）

（画面２：成績表）

成績表 ↓操作ボタン

選択した学生

学籍番号	学年	出席番号	カナ氏名	漢字氏名
	1		ｹﾞﾝﾏ ﾀﾛｳ	群馬　太郎

単位数集計

分野区分	◇教養教育◇	文化生活必修	文化生活選択	個人社会選択	英語	人間コミュ必修	人間コミュ選択	環境科学選択	教養教育計	◇専門基礎◇	必修	選択	◇専門◇	必修	選必	選択	専門科目計	◇共通専門◇	必修	選択	（余剰選択）	◆卒業要件◆	自由科目	要件外（余剰）
卒業要件		2	2	4	4	2	2	6	22		23			62	2	2	66		5		10	126		
修得単位		2	2	4	2	2		4	16		3			2			2					21		
不足単位					2		2	2	6		20			60	2	2	64		5		10	105		

GPA

前期	後期	年間	累計
2.8	0	2.8	2.8

[illegible]

分野	科目名称	試験区分	評価	単位
【文化と生活】	群馬県民の文化と生活	本試験		2
【文化と生活】	異文化の理解	本試験		2
【個人と社会】	個人と集団	本試験		2
【個人と社会】	倫理と道徳	本試験		2
【人間とコミュニケーション】	英語Ⅰ	本試験		2
【人間とコミュニケーション】	情報科学Ⅰ	本試験		2
【環境と科学】	環境科学	本試験		2
【環境と科学】	スポーツ科学Ⅰ（スポーツ理論）	本試験		1
【環境と科学】	スポーツ科学Ⅱ（体力づくり）	本試験		1
【環境と健康】	「環境と健康」概論	本試験		2
【環境と健康】	「環境と健康」各論Ⅱ（代謝と栄養）	本試験		1
【看護の本質と看護技術】	看護学概論	本試験		2

[illegible]　　絞り込み [---]　絞り込み

分野	科目名称	教員	試験区分	評価	単位	修得年度
【文化と生活】	群馬県民の文化と生活	石川　良樹	本試験		2	平成31 前期
【文化と生活】	異文化の理解	山口　和美	本試験		2	平成31 前期
【個人と社会】	個人と集団	坂本　祐子	本試験		2	平成31 前期
【個人と社会】	倫理と道徳	森川　功	本試験		2	平成31 前期
【人間とコミュニケーション】	英語Ⅰ	鍋生川　恵美子	本試験		2	平成31 前期
【人間とコミュニケーション】	情報科学Ⅰ	佐藤　昇大	本試験		2	平成31 前期
【環境と科学】	環境科学	石川　良樹	本試験		2	平成31 前期
【環境と科学】	スポーツ科学Ⅰ（スポーツ理論）	鈴木　昭彦	本試験		1	平成31 前期
【環境と科学】	スポーツ科学Ⅱ（体力づくり）	近藤　明彦	本試験		1	平成31 前期
【環境と健康】	「環境と健康」概論	石川　良樹	本試験		2	平成31 前期
【環境と健康】	「環境と健康」各論Ⅱ（代謝と栄養）	石川　良樹	本試験		1	平成31 前期
【看護の本質と看護技術】	看護学概論	巴山　玉蓮	本試験		2	平成31 前期

（画面３：履修情報）

履修情報 ↓操作ボタン

選択した学生

学籍番号	学年	出席番号	カナ氏名	漢字氏名
	1		ｹﾞﾝﾏ ﾀﾛｳ	群馬　太郎

前期

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1限	情報科学Ⅰ（N1） 佐藤　昇大	「環境と健康」各論Ⅱ 石川　良樹		スポーツ科学Ⅰ 鈴木　昭彦	人間の発達と健康概論 横山　京子	
2限	英語Ⅰ（N1） 鍋生川　恵美子	「環境と健康」各論Ⅱ 石川　良樹	「環境と健康」各論Ⅰ 青木　武生	倫理と道徳 森川　功	看護学概論 巴山　玉蓮	
3限	個人と集団 坂本　祐子	英語Ⅰ（N1） 鍋生川　恵美子	群馬県民の文化と生活 石川　良樹			
4限		情報科学Ⅰ（N1） 佐藤　昇大	異文化の理解 山口　和美	「環境と健康」概論N 石川　良樹		
5限	環境科学 石川　良樹	スポーツ科学Ⅱ（A） 近藤　明彦	異文化の理解 山口　和美	「環境と健康」各論Ⅰ 青木　武生		
6限						
7限						

後期

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1限	「環境と健康」各論Ⅲ 石川　良樹		ポルトガル語 東海林マリオ哲			
2限		英語Ⅱ（C2） [illegible]	ポルトガル語 東海林マリオ哲	心の働きと[illegible] 加藤　昌弘		
3限	歴史学の変化と発展 小林　[illegible]	生活と科学Ⅴ（化学） 石川　良樹	芸術Ⅱ（造形芸術） [illegible]	群馬県民の[illegible] 飯田　[illegible]		
4限	人間の発達と健康概論 横山　京子	生活と科学Ⅰ（数学） 森川　功	「環境と健康」各論Ⅳ 青木　武生	「環境と健康[illegible] 石川　良樹		
5限	生命倫理学 森川　功		「環境と健康」各論Ⅳ 青木　武生	「環境と健康[illegible] 石川　良樹		
6限						
7限						

この履修情報画面も利用し、各自履修漏れがないように
注意して下さい。
履修登録期間後も、記録として履修登録情報を
閲覧できるようになっています。

その他

曜日	時限	授業科目名	期間	担当教員	エラー
曜日無	時無	人間の発達と健康実習	後期	[illegible]	

申請資格

資格名	申請年月日	取消年月日	免許番号

エラー内容

エラー内容

ページ先頭へ戻る

閉じる